男女貞潔之理想　會長　島田三郎

公娼廢止之主張　副會長　安部磯雄

4—285

（明治四十四年八月一日第三種郵便物認可）
（大正六年八月一日納本）（毎月一回一日發行）

廓清

第七卷第八號

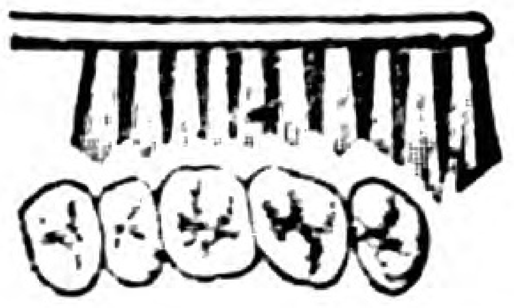
□廓清時言……………………伊藤江南
□國家經綸の基礎……前衆議院議長　島田三郎
□子供に對する義務…早大教授　安部磯雄
□婦人問題と貞操……法學博士　浮田和民
□教科書の一大缺陷…三輪田女學校長　三輪田元道
□淨瑠璃の男女道德……一條忠衞
□勤勞の教育的價値…東京市教育課長　守屋恒三郎
□平凡道德……遞信省電氣局長　棟居喜九馬
□夏期の家庭衞生……女醫學校長　吉岡彌生
□遊廓物語……救世軍婦人救濟係　伊藤大尉
□闇に蠢く腐肉の群……角雅堂
□最近の廓清運動……白萩生
□不良少年の研究……北島孝人
□廓清春秋……河合北洲

東京　廓清會本部發行

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

完全消毒

『萬歳』齒刷子



「萬歳」齒刷子の特長

一毛束の大さや長さが、一つ一つ違へてあつて、其先が尖らしてありますから、大小の齒の間や咀嚼面の凸凹部がうまく磨ける様になつてゐます。

一毛束の列べ方を齒列に合ふ様にしましたから、普通の楊枝の屆かない臼齒の奥まで具合よく磨けるやうになつてゐます。

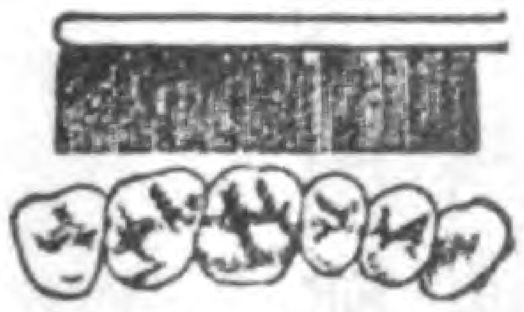
一男子用、婦人用、子供用と分けて、それに硬軟大小さありますから、銘銘自分に適するものを撰んで使へる様になつてゐます。

一毛束の間に隙が揃へてありますから、洗ふにも乾かすにも便利でございます。（尚乾かす時には柄の端にある孔を釘にでも懸けると宜しい。）

一柄を外に曲げて持ち易く使ひ易くしてあります。

一大さを日本人向に致しましたから、舶來品にある様な不便はありません。

一消毒の上、嚴重に封じてありますから病菌傳播の憂もなく誠に氣持が宜しうございます



普通の齒楊枝の缺點

▽定價

男子用　二十五錢
婦人用　二十錢
子供用　十五錢

東京本所區外手町
ライオン齒磨
ライオン石鹸
本舗　小林富次郎
大阪市南博労町二丁目
名古屋

◉御注文の際は必ず雜誌『廓清』に依る旨御申添を乞ふ◉

月刊 **婦人新報** 十錢

▼日本唯一の婦人運動▲

▼基教主義の社會事業▲

八月號 要目

□自覺の三階段……矢島楫

□女兒保護事業……守屋東

□正午の祈禱……安中花

□**矯風會の内的歴史**……久布白落實

平塚雷島女史に答ふる堂々十餘頁の大論文

□こゝろの告白……北見くら

□南洋と木村技師……記者

□編輯室より……エー、エム

發行所 東京市赤坂新町三丁目 **婦人矯風會本部**

電話芝一七五三番 振替東京三二四六九番

八月號 ○本誌を眞に人生を憶ふ紳士淑女に薦む○

六合雜誌 廿五錢 稅一錢半

□獨創的精神の發動……内ヶ崎作三郎

□政治と宗教……安部磯雄

□攻究せられざる信仰の對象……沖野岩三郎

□女大學新評論(二)……一條忠衛

□神祇論(四)……福井永頼

□海を越えて(感想)……佐藤清

□田舍から都會に(感想)……加藤時也

□Kの發狂(小說)……上山善治

□孤獨を愛する心(感想)……吉田絃二郎

□信仰の偉大なる効果……熊崎武良温

□遙か遠い世界にて(シユライネル)……齋藤未學

□藝術の宗教と人道の宗教……石田三治

□此不安は何故か……中村長之助

□無常と久遠……三並良

見本を望まるゝ方は金十錢送られたし

○發兌 東京三田 **六合雜誌社**

振替東京一〇〇〇三番 電話芝五八五五番

廓清

THE PURITY

大正六年八月

第七巻第八號

廓清時言

活動寫眞の新取締出づ

吾人が活動寫眞の兒童に及ぼす惡影響を論じて兒童活動寫眞館の設立を提唱したりしより、正に二年有半を經たり、此間識者の間に論議の聲漸く喧しくなり、遂に今八月一日を以て警視廳は新取締を實施する事となりぬ

此規則の主なる内容は、第一寫眞を甲乙二種に分ち、十五歳未滿の兒童をして甲種映寫の活動館に入場せしめざる事、第二男女席の區別を設けたる事、第三說明者を人格本位に取締る事の三點にして、之が風敎上に及す効果は容易に測る可からざる程の絶大なるものある可し。

兒童の活動寫眞に對する感興は實に猛烈を極む。而も其見る處は男女間の情交にあらずんば卽ちジゴマ式探偵物にして、其强烈なる印象の顯在的潛在的に與ふる影響は眞に戰慄に値し、重大なる社會問題をなしたりしが幸にして今日此の規則を見る、感謝せざらんとするも得ざる也。尚若し更に進んで望蜀の慾を云へば、積極的にフイルムを精選して最も有効なる敎育の補助機關たらしむるにあり、獨逸の軍國主義の國民敎育に傚つて、我は人道主義の國民敎育を施すにあり。

活動館内に於ける男女席の區別は、或は實行難上より或は自由權の上より非難する者なきに非ずと雖も、魍魅魍魎の暗中飛躍を知らざるより來る謬見にして、不良少年は實に活動館を以て最も適好の活動所となす。一度彼等の物色する處となり隣席に座を占められんか、父にもあれ母にもあれ容易に其監督の眼を掠めて其携へたる娘と通同する事を得る也。斯かる際に於ける女子の誘惑に乘せられ易きは又言語の外にして、容易に未見の男子に其手を許すを常とし、館外に出で丶涼風面を拂ふに至つて始めて茫然

夢の醒めたる心地をなし理智は働き始むる也。斯くて互に何者なるかを知らず其關係は直に流戀し去るが故に、幸に事なきを得るも、引續いて終に拭ふ可からざるに墮するもの元より少しとせず、近松巢林子をして『一筋に思ひ返しのないもの』と云はしめたる通り、女子が情の爲めに前後の分別のなくなるは今も昔の儘なり。而も之を啻に金箔附の不良少年（又は賣笑婦）によつて行はるゝのみとなさば、未だ當らず、偶〳〵席を隣し異性との接觸美より衝動的に不良青少年の行爲に陷る男女の如何に多きかも想像の外にありて、到底研究したる事なき者よりしては事實と信じ難き程に屬す。今幸にして此新取締に會す。吾人は之を多とするに何ぞ吝なるを得んや。

帝國議會の飛田遊廓問題

飛田新遊廓地は世論の囂々たるに恐れてか一年半に垂んたる今日未だ府當局は建築を許可せざるを以て、此機を逸せず大阪に於ける本會及矯風會の聯合より成る飛田遊廓設置反對同盟會にては去る七月五日附を以て約三千人の連署を得、貴衆兩院へ之が取消請願をなし、衆議院にては議員三十五名の賛成を得て別項の質問書を提出したり、之に對する政府の答辯を見るに『天王寺村貸座敷免許地の指定は既定の事實なるを以て更に之を廢止するは考慮を要すべきものと認む』とありて流石に『廢止の必要を認ず』と云はざるは、正義に立脚せる輿論を無視する能ざりしによらん。

然れども如斯は抑も答辯の體をなさず『考慮を要す』といふは未だ議論の途中にて、次いで『故に目下調査中』とか『故に廢止するを得ず』とか故に何と論結する處なかるべからず而して若し『調査中』乃至考慮中なりとせば、他日其態度を鮮明にするの時期なかるべからざる也。

之を要するに斯かる答辯振りは、帝國議會が政爭の場所なるより生じたる不誠實なる瓢簞式答辯にして、寧ろ堂々反對意見を述ぶるの男らしきに如かざる也。惟ふに當路の意中は理論としては取消を至當となすも、やはり一旦許可したるものを取消すは威信に關すといふにあらん。されど立憲政治は輿論政治也。一二官僚の徒の威信の爲めに民衆の利害を無視し、民意に反して飽迄不道德を强ひ非違を遂ぐるを許す可きに非ず、善政主義を標榜する現內閣たるもの何ぞ進んで前內閣の秕政を正すに怯惰なる。云はずや過則勿憚改と、內務大臣男爵後藤新平君足下、乞ふ論語の一頁を讀め、是れ二百萬大阪市民の爲也。國家風敎の爲め也。

奢侈と淫逸の風潮漲る

歐洲戰亂の結果、各交戰國國民が著しく緊張せる生活の下に、物質精神兩文明の上に偉大なる躍進を試みつゝあるは顯著なる事實也。然るに我が國は却つて奢侈と淫逸の風靡然として全國に瀰漫し、米價の暴騰を餘所に花柳界の殷盛其極に達し、神戶の一旗亭の如きは收入一ケ月十何萬圓に上り、一人前五十圓以下の料理を謝絶せんとし、而も慈善救濟的方面の寄附金に至つては却つて大阪最も少しといふ。

今や戰亂第四年を迎へ、諸文明國が愈々緊張し來れるの秋、頽廢的氣分の磅礴たる今日の如くんば其將來や知るべし。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

國家經綸の基礎

前衆議院議長
廓清會々長　島田三郎

□現代の一大病弊

廓清の事業は、表面に顯はれざる人の內行に屬するものであり、更に人の心理に屬するものであり人の性格に屬するものであるから、今日の如く世が形式に流れ、虛榮に醉ひ、利害に眩惑する社會に於ては、殆んど無關係の事の如く見做す者もあるであらう。けれども識者は却つて廓清の事業を以て根本の基礎問題となすを容るゝのである。

蓋し行ひは心の顯現なるが故に、心の問題が社會のあらゆる事業に影響するは自明の理である。何れの宗教家も何れの道德家も期せずして人事を心機の問題によつて決するは一樣である。心に邪念を懷くを罪惡とし、其心の行ひに表はれざる間に、又行ひの未だ人に知られざる間に是非曲直を嚴正に審判するのである。心に人を殺さんとする者は殺人罪であると基督教も佛教も同一審判を與へて居り意を誠にして心を正しくするのが社會を整理し天下を治むる基礎であると孔子も敎へて居るのである所謂功利に趨つて結果のみに着目する人より之を見れば迂遠の極とするのであるが、斯くの如きは實に現代を支配する一大迷想であつて、思ふ事が行ひとして表はれ、行ふ事が社會に影響するは一點疑ふの餘地なき必然の過程でなくてはならぬ。

□劉安生と諸葛亮

昔者劉安生といふ人が其師司馬君實に一生を通じての一大敎訓を乞ふや君實は誠の一言なりと答へた。然らば實行の手續は如何と問ふたら、妄言せざるより始めよと云つた。これは俗に譯すれば嘘をつくなといふ事である。劉安生は心の內何だ詰らぬ事と思ふたかも知れぬ。少くとも容易く出來る事と思ふたと自ら書いてゐる。然るに退いて每日行ふて見ると思ふ事と行ひと實際の上に都て一致せざ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

るに驚き、遂に七年の間非常な苦心をなして師の敎へに背かざらん事に努力し、漸く其域に達し得たといふ。君實元より偉人である、劉安生も非常な德行家であつて、誠の工夫の大切にして六ケ敷きこと此の一事でも分るのである。

彼の蜀の孔明が後主劉禪に書を上つて其公人たるの心掛を述べた事は、今日に於て極めて痛切の訓誡と思はれる、其の全文極めて名文であるが、今大切な一節を引用すると

臣家成都有桑八百株薄田十五頃子孫衣食自有餘饒臣身在外任無別調度隨身衣食悉仰之于官不別治生以長尺寸若臣死之日不使內有餘帛外有贏財以負陛下也。

高明の襟度謹愼の心事眞に歎稱に堪へないではないか、是亮が難儀の地位に立つて强魏と競ふて、蜀の上下に信賴せられた所以で、天下の風雲を呑吐した孔明が其一身の心掛見る可しである。彼の所謂政界の策士財界の仕事師から見たならば、或は寧ろ孔明を愚直として之を哂ふかも知れぬ。併し乍ら後代の史家は『富貴も淫する能はず、貧賤も移す能はず、威武も屈する能はず、斯くの如きを大丈夫といふ』べきであると孟子の言葉を引いて孔明の人格を評したのである。若し、此の一部の節操の遺響餘韻だにあらば、支那の政界も朝鮮末路の政局も、日本現在の政界及財界も、決して今日の有樣を現出せぬであらう。

□英米と日支の政客

諸葛武侯の向ふに立つた英雄は、其能力に就ては孔明も推稱した程の魏の武帝曹操である。此人は『我の智は天下を欺くとも天下に欺かれず』と誇つた丁度孔明と反對の性格の人物である。其の能力絕倫なるが爲め一代の風雲を叱咤して天下を震動し、詐謀乍ら新らしき帝業を魏都に立てたのであるが、今日の支那人は孔明の推稱者が少くして定めて曹操の崇拜者が多い事と思はれる。之れが現時の支那政局を支配し、手段を擇ばずして目的を成就せんとし、波瀾重疊の紛糾を見。其國運の衰替に趨く根本原因である。

ロイドヂョーヂやウイルソンの宣言を見て切に吾人の感ずる處は、常に胸襟を披攊して秘密を藏するなき誠の表はれであるが之と反對に日本支那の政局には何れの言語にも陰影がある。信義を守るなどは迂夫の事としてゐる。如斯にして果して社會の進步國民の幸福を齎すことが出來るであらうか。

世にはまた自由平等を高唱する、論者が家庭の中では專制君主である事程言行の矛盾はない。公議輿論を重んずべしといふ政治家が家の中に多くの秘密がある。友人に對しても秘密がある。如斯にして果して自由平等公論讜議を社會に唱へる資格があるであらうか。否資格の有無よりも實際の上に吾人は彼等によつて社會の自由平等を招來するものでないといふ事を斷じて憚らないのである。

□形式を去つて誠に歸れ

要するに形式と虚僞とを去つて心の儘を云ひ表はして、之を何人にも批判せしむる丈の自信なくば、如何なる智能も議論も根なき草木に等しい。世間は餘りに知能に重きを置いて根本を忘れて居るのである。本體から云へば知能も誠意から出るものである。天下の父母は必ずしも醫學衛生の上から學び得た能力ある譯ではないが、子を愛する念誠なる故一文不知の田夫野婦も結構に子孫を保育繁殖して居るのである。大學に『心誠求レ之。雖レ不レ中不レ遠矣。未レ有學レ養レ子而后嫁者也。』といふのは此事を道破した名言である。而も幾千年の歴史は誠意から出た智能が世を益し社會を進めるに一轍ではないか。能力の誠から來る事は、中庸の『人一而能レ之己百レ之。人十而能レ之。己千レ之。果能レ此則雖レ愚必明』。も此原理を道ひ。歐陽明の知行合一といふのも此意味に外ならぬ。而してワシントンの偉業も之れから出來た。而してナポレオンの傾敗も其誠意を缺いた能力の失敗であつた。

何れの國も未だ理想からは遠い進歩の道程に居るが、英米の二國が軍備に於て缺けて居つたにも不拘人々が各自の責任を感じて機械的充實の獨逸に當つてゐる大勢に見るも、此意義を實例に表はしてゐる。軍人の特別なる教育は英米二國に甚だしく缺けてゐたけれども、一たび國に對し人に對する義務を思ふや昨日の農工商は天晴の軍人と化した。此事は日本國民を警醒すべき實際の教訓ではないか、此の標準から見て現在我國の疾病を何となす。小細工で仕事が出來、策略で事業が擧がると思ひ。義務の觀念を忘れて徒らに成功を得んとする、此の輕薄の氣風然りではなからうか。風俗を正しくする事は、風俗のみに止まらず、表はれては國家經綸の基礎となり、人類進歩の根據となる、此點から見て廓清事業は閑問題に非ずして實に急務中の急務でなくてはならぬ。

會告

例年の通り九月號を休刊し、十月一日を以て倍大號を發刊候に付此段謹告候也

十月號の本誌が如何なる新裝を凝らして表はれ來るか希くば刮目して之を待て。

八月一日　廓清會本部編輯局

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

子供に對する義務

早稻田大學教授
廓清會副會長　安部磯雄

□産前に夫を戰場から呼返す

歐洲各國に於ては、戰爭前から餘程子供の死亡率といふ事に就て考へてゐたのであるが、殊に戰爭が起つて後、人口問題が非常に彼等の注意を惹くやうになつた。これはさもあるべき事と思ふ。

早い話が戰爭當時から獨逸の婦人で子供を生むといふ場合には、夫が戰場に出てゐると態々政府は其夫を戰地から呼返して妻の安產する迄は留め置いた。之は妻が、側に夫に居て貰つて安心して產をする事が出來る樣にといふのであつて、畢竟其結果は生れる子供に影響が及ぶといふ處からである。之は一例に過ぎないが、生れぬ內から斯樣に細い點にも注意して居る位であるから、歐羅巴では生れた子供が死なぬ樣にといふ事に非常な骨を折つてゐるのは申す迄もない。

□黴毒を根絕せんとする獨逸

先日私は亞米利加のマッククリウアといふ人に遭つた。此人は自分で雜誌を經營して、マッククリウアマガジンといふものを出してゐる却々才氣ある人で、話をしてゐる內にもハキハキしてゐる氣象が窺はれる。此人は戰爭が始まつて後も獨逸や佛蘭西を旅行して來て、其旅行談中に私の注意を惹いたのは、獨逸が小兒の死亡率を減ずることに非常なる努力を盡して居る事である。幼兒死亡は殊に黴毒に原因する事多きは誰も知る處であるが、獨逸は今度新に黴毒撲滅の大方針を立てて一大努力を試みつゝある。今の獨逸政府の努力の有樣から云へば、黴毒と雖も根絕が必ずしも不可能とは云へぬ。その全滅せらるゝの日は遠い將來ではあるまいと思はれる。

人類の敵として最も恐るべき病毒を擧ぐるならば、黴毒と酒毒と肺病の三つたる事明かである。然るに私が前から氣のついて注意を拂つてゐたのは、獨逸が肺病撲滅に非常な努力をなしてゐた事で、其一例を擧ぐれば、獨逸には勞働保險といふものがあり、勞働者は全部加入してゐる。掛金は勞働者が一分と雇主が一分と更に國家が一分を負擔する事になつて居り、一年間に何億圓といふ巨額に達してゐる、されば政府から見ると勞働者が肺病の爲めに死ぬと直に保險金の上に影響して來るので、死亡を防ぐ爲めにはいくら金を掛けても肺

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

病撲滅の爲めに金を出す方が差引經濟でつまり後から出すものを前に出して防ぐ方が得になるといふ經濟關係から、何百萬圓の金をかけて或は無料診療所を設けたり、肺病の初期の人は田舍の休養所に送るやうにして、種々此病の撲滅に努めて居る結果、肺病による死亡率は年々減じてゐる、近い內に撲滅されるであらうと思はれる程である。然らば酒害の方はどうかといふと、獨逸人はビールを用ひる國民で、ビールは酒類中最もアルコホルの少いものであるから、他の國よりも之によつて受ける害毒は少い。して見ると三大害惡中殘る問題は黴毒であつたのに今は此の黴毒をも全滅せしめやうといふのであるから、此の三つのものを擊退する事が出來れば、假令戰爭に負けても遠からず人口なども恢復するであらうし體質精神の上に最も健全なる發達を遂ぐるであらう。恐る可きは實に獨逸國民である。

□我國の小兒死亡率と文明國

飜つて日本に於ける小兒死亡率はどうであるかといふに、先般統計局の二階堂氏の或雜誌に出した統計を引照するが、出生者千人につき滿一歲未滿の死亡者は、明治二十二年から二十六年迄は百四十三人四分死んで居り、二十七年から三十一年迄は百四十七人八分、三十二年から三十六年迄は百五十三人、三十七年から四十一年迄は百五十三人四分、四十二年から四十四年迄は百六十一人七分である。

之によつて見れば實に日本は恐る可き狀態ではないか、而も年々死亡率が增加しつゝあるのであるから、此儘日本が行くなら日本は他國に比べて著しく高い死亡率を見ることになる。試みに之れを外國に對照して申せば、日本よりももつと死亡率の高い國がないではない。それは露西亞と墺太利とである。けれども日本よりも有望といふべきは、永い間死亡率が增加しないで、同じ程度に止まつてゐる事である。而して今日日本と同程度の死亡率を有する國は、伊太利、白耳義、普魯西の三ケ國である。乍併此の三ケ國も日本より遙に有望なるは死亡率が年々低下しつゝあるのである。

□男女關係の清潔と親の義務

斯樣に考へて見るなら、日本は文明國中一番悲觀すべき狀態にある事を考へねばならぬ。私は死亡者の內にどれ丈が黴毒によるか其統計を持たないが、併し決して少くないと想像する事が出來る。假しんば死亡せぬでも道路を通る時常に見かけるやうに、赤ん坊が頭一ぱいに出來物が出來て、頭中盔でもしたやうに何か出來てゐるのを見ると、黴毒の結果と斷定せざるを得ぬ。殊に之は下等の階級に多く見るやうである。私共は子供のカサの出來てゐるのを見ると、肉體の外に表はれてゐるやうに、腦髓の內部にも黴毒の影響が及んでゐる事を思はざるを得ない。

斯樣にして生ひ立つて小學校に出るやうになると、餘り學問が出來ない、甚しきは白痴低腦兒になる。何故に我國民が黴毒に就ても少し恐れる心を生じないであらうか。親としては實際申譯のないことで、不品行の爲め自分の子孫に肉體上精神上缺點を殘すといふのは忍び得ざる事ではないか。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

婦人問題と貞操（二）

廓清會評議員
法學博士　浮田和民

五　男尊女卑の思想と貞操

此男女教育の平等を妨ぐるものは男尊女卑の思想であつた此男尊女卑の思想は過去に於ては世界の何處にもあつた考へである。之れは西洋にもあつた。基督の教へはさうではないが、聖書は男尊女卑である。殊に舊約聖書の如きは甚だしい新約に於てもパウロの言葉などはさうである。されば米國などにては聖書は女子に不都合なりとして、女子用の聖書を編纂した位である。中古のカソリック教會の如きは一方にはマリアを崇拜しながら、他の一方には婦人を卑しめ、俗人は結婚するが、僧は潔き生活を送るものなれば結婚を否定した。之れ女子は罪を含んだものと見たからである。然るに此考へはルーテルに於て一掃された。彼れは男女の性は天の道であるとし、破戒僧となつて結婚した。即ち男女を平等の地位に置いたのである。今日の基督教は此點に立脚して、男女は平等のものにして、尊卑なきものであると觀るのであつて、歐米の宗教も茲に其根柢を置いてをる。然るに今日我國には女卑男尊の風が非常につよい。世界の文明國中日本ほど男子の跳梁せる國はないのである。之れは佛教の感化である。日本の男子が婦人に望むところは過去の維新以前封建時代の女である。貞操の理想は過去にあるのである。しかし前にも述べる通り、時勢は進む一方で、斷じて過去の時代に後戻ることはない。故に我等は其の婦人觀も、貞操觀も之れを現代の時勢と照應して、現代に適應するものを立せねばならぬ、即ち女子教育を現代に適應するものたらしめ、女子の地位を向上して、女子は男子のために出來たものであると云ふ僻思想を打破し、男女は平等である所まで進めて行かねばならぬ

六　偏頗と不徹底な貞操觀

男子不平等の最も甚だしきものは貞操問題である。今日の日本は女子には絶對的の貞操を要求し、男子は自由である。而して言をなすものは、古人の理想を揚言して「貞女二夫に見えず」と云ふのである。乍併昔と雖も決して再縁を禁じたものでない。我國に於ては昔も再婚は自由であつた。印度の如き國に於ては之れが極めて嚴格に行はれ、一度結婚すれば斷じて再び結婚しないのである。否甚だしきは許婚でも、其夫に死なれゝば再び婚せず、八九歳の未亡人が無數に居ると云ふことである。支那なども婦人が束縛壓伏せらるゝ事は極めて甚だしい。支那では、男子が婦人の手を握ることを許さぬ。故に醫者は婦人の醫者で、男醫は婦人を診ることは出來ないのである。我國の婦人は支那印度の婦人に比すれば遙に幸福なれど、歐米の婦人に比すれば實に甚だしき懸

隔がある。故に敎育の力を以て婦人の地位を向上せしめねばならぬ。彼の親のために節操を賣つて顧みざる惡風習の如き誤れる貞操觀に基くものであつて、畢竟無敎育の致す處である。而して一方には斯く貞操を安賣りしながら、他の一方には婦人に對して絶對の貞操を要求し、之れを守らざれば、婦人を死地に陷るゝも敢て意としないのである。

其一例を云へば婦人が强姦せられたる場合に於ける婦人に對する男子の無情冷酷なる態度である。卽ち纎弱なる婦人が獸の如き男子に手込にせられ其飽くなきの慾に虐げられし場合に、世の多くの男子は、之れを見て、何故に一死以て之れと爭ひ、自殺して貞節を完ふせざるやと云ひ、おめ/\と身を汚さるれば、之れを和姦であるとすら云つて憚らない。而して若し斯る婦人あれば男子は此一點を以て之れを避けて婚せず、彼女は生涯不遇の中に一生を終るのである。世に此の態度ほど冷酷なるものはあるまい。昔は武士が賊に忍び入られて脅迫せられし時、生命を重として其保管せる寶物金品を與へし者は、武士の恥辱として、其の面目を完ふするため自殺する筈のものであつた。然るに今日は如何に貴重なる寶物と雖も强盜に脅迫せられて之れを與へたりとて、何人も卑怯者として之れを笑ひ、男子の面目を傷つけたるものとして之れを辱しむるものはない。寧ろ最も賢き方法として之れを賞するのである。前に述べし如き婦人が災に罹る場合は、恰も斯くの如きものである。否弱き女の力に於ては、夫れ以上に同情すべきものがあるのである。然るに男子に對しては之れを責めず。婦人に對しては極力之れを爭ひ、力及ばずんば一死以て節を完ふせよと云ふ。之れ實に男子が女子に對して不公平なる思想を有するものである。斯くの如きは直に徹底せざる貞操觀と云はざるを得ない。

七　文明國と結婚制度の改革

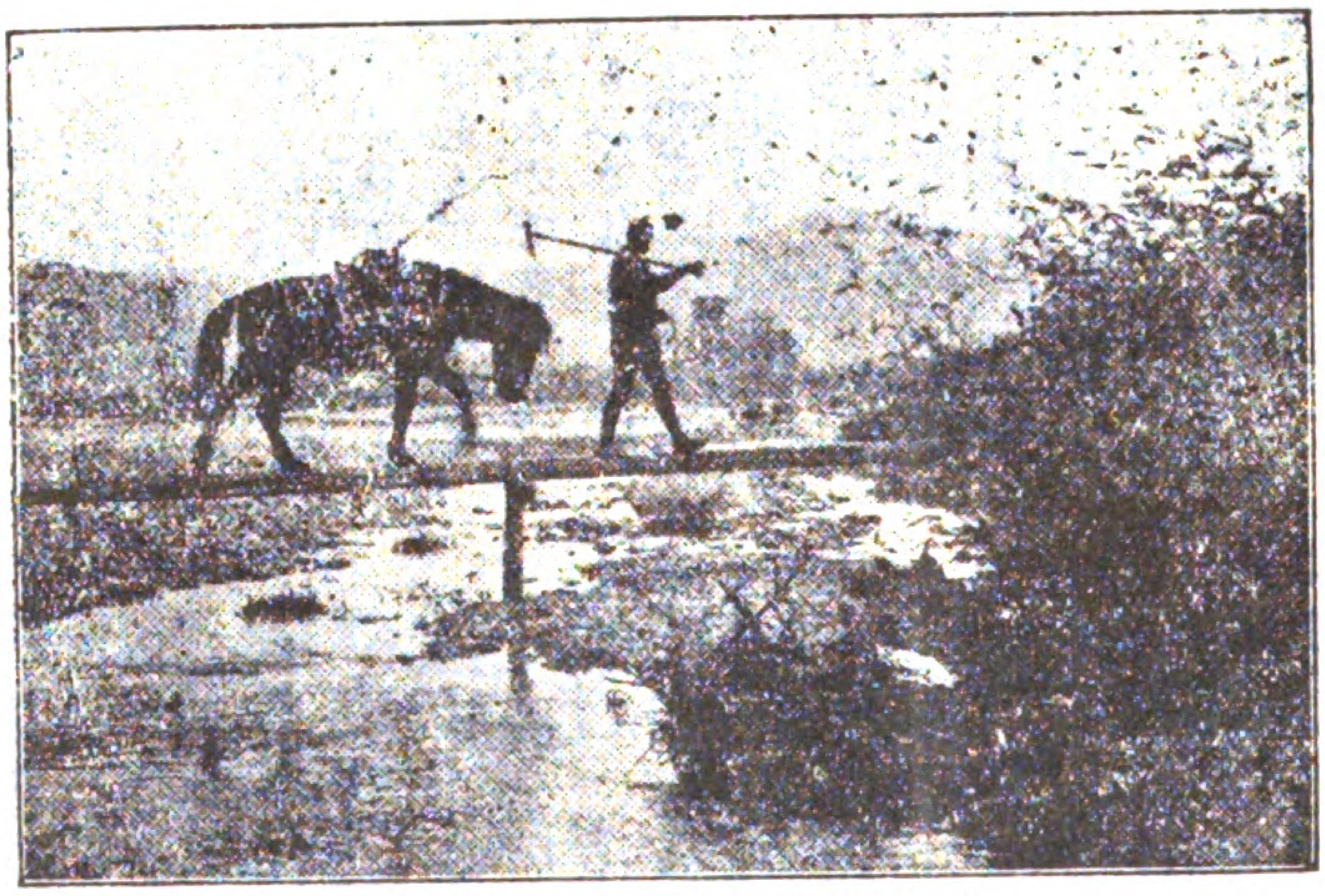
次に一言すべきは戀愛と結婚の問題である。此戀愛と結婚とは相伴はねばならぬ所のものである。然るに我國の於ては古來、戀愛が結婚の要素となつてゐない場合が多かつた。現代に於ても其風は決して改まつたと云へない。從つて家庭はあるが、夫婦の情愛と云ふものは十分に成立つてゐない。昔は家に對する義務として婚姻したから夫でよい、彼等には義務の觀念が道徳化して來て、そこに武士の家庭と云ふものが成立つたのである。然るに今日は戀愛なき結婚のために夫婦は唯だ男女が一の家庭を形成する所にして、戀愛は夫婦以外にあるのである。戀愛の何たるを解せずして男女が夫婦となる。而して夫は外に働き、妻は内に齷齪す、之れ所謂共同生活である。之れがやがて破綻を來たすは當然のことゝ云ふべきである。之れやがて堂々たる紳士が公然傾斜の巷に出入りして恥ざるに至る原因ではなからうか。

家庭がかゝる殺風景なるに搗てゝ加へて、我國の社會は淸き社會と、淸からざる社會とが一向に差別がつかぬ。淸からざる社會は、淸き社會に浸入してをる。故に紳士の之に出入するには都合がよい。西洋にては醜穢なる社會もある。しかし西洋の社會では兩者は水と油の如く分明にして、決して混同してない。故に紳士にして一度斯る社會に入るあらんか、

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

其人は生涯健全なる社會の指彈きする所となつて、再び社會に面を向けることは出來ないのである。彼等には內に戀愛によつて成立る美しき家庭あり。併せて社會には嚴格なる制裁がある。我々の家庭は戀愛を基礎とせざる結婚より成り、社會は斯くの如く亂脈である、男女間の貞潔の傷はるゝも亦已むを得ない狀態にあるのである。

されば我國の貞操問題を解決せんとするには、先づ夫婦の成立其ものを改革せねばならぬ。換言すれば結婚制度其物を改良せねばならぬ。見合結婚を改革せねばならぬ。寫眞結婚が在米同胞と內地との男女間に行はるゝと云つて、やかましく云ふが、現に內地に於て寫眞結婚が盛に行はれてゐるではないか。海外へは寫眞結婚の前に、內地の寫眞結婚をどうかせねばならぬ。仲人結婚、寫眞結婚は日本獨特と云つてよいのである。其結果の如何なるものなるかは離婚の多いのでも分る。世界の文明國中、我國より離婚の多い國はない。我國は離婚に於て一等國である。勿論自由結婚と云ふものが、必ずしも眞の意味に於ける戀愛結婚を成立するものなるか、他の言を以て云へば青春の血にもゆる男女が意馬心猿の狂ふに任せる戀愛が健全なるものであるかと云ふことは別論であつて、之も亦弊害なしとしない。米國が日本に次ぐ離婚率の多い國なるを見ても、略ぼ察せられるのである。英國の離婚率は米國よりも少く、日本に比すれば遙に少いのである。が要するに戀愛に基かざる結婚は不幸である。



月涼し馬洗ひ居る川の音

八　女子教育と婦人問題の解決

結婚はどうしても戀愛を基礎とせねばならぬ。而して戀愛は徒らに青年血氣の心を以てしたる判斷を基礎としたるものは、不健全となる恐れがあるから、親兄弟、友人の助力を以て互に誤らざるを要する、而して之れが尤も有力なる助力者は學校の教師や、教會の牧師であると思ふ。而して之れが眞に理想的に行はるゝには云ふまでもなく、女子自身が十分に「人」として教育せられ、男子と對等の立脚地にたつて男子に選擇されて怡々たるのみに止らず自から男子を選擇するの常識を有するに至らねばならぬ。

之れを要するに一切の婦人問題の解決は女子教育の向上さ云ふことによつて成就さるゝのである。女子教育の進步は婦人問題の解決の鍵である。前にも述べた通り、文明は男子のみにては來らない、男女は鳥の兩翼の如く、車の兩輪の如きものである。故に如何に男子の教育が進步しても女子の教育が低級なる時は、其國の文明は跛者的文明であつて、斷じて健全有力なる文明さ云ふことは出來ないのである。故に有識の士はすべからく我國の上下に蔓る固陋なる婦人觀を打破し、男尊女卑の弊風を打破して、女子教育の進步向上のために努力せればならぬ。

根底を忘れたる教科書

三輪田女學校長
廓清會評議員　三輪田元道

□不幸なる日本の家庭

文明國から云へば一夫一婦は當然で、問題にも何にもなつて居ない。然るに日本では公然一夫一婦といふ言葉を用ふることすら憚る樣な狀態にある。歐羅巴の如き進んだ國々では一夫一婦は夫婦の意味の中に當然含まれて居るのであつて、一男一女が苦樂を共にする意味で結合したものでなくてはならぬ。日本とても制度の上に一夫多妻である譯ではないが、事實は全く一夫多妻的で、現に妾なるものがある。然らずとも遊廓がある、藝妓がある、其他賣笑を目的とするものがある。或は私通が行はれる。そして之等の事は何等法律に觸れないし、道德にも矢釜しく云はれない。故に日本の家庭は神聖であるべくして穢れに滿ち、平和であるべくして風波多く幸福なるべくして涙に濕り勝ちである。

一夫一婦といふ言葉が既に日本人に特種な角張つた感じを與へ、新しく響き、或人々が神經過敏に感ずるといふことは心理的にも日本には一夫一婦が事實上行はれて居ない證據で日本人の品位の低い所以である。戰爭で強いのも必要である貿易で國を富ますのも必要であるが、精神上に一等國になる事はより必要でなくてはならぬ。日本は戰爭によつて武力上には確に一等國になつた。又今度戰爭によつて成金國となつた。併しまだ一夫一婦が新しい、憚りがあるといふ樣な事では精神は片輪で、外形と內容の釣合はない國家の健全なる發達はあり得ない。

□一夫一婦を教科書に說かず

然らば之を匡ふの道は如何といふと、先づ第一に一夫一婦の必要を學校の教科書によりて教へ込むことである。ところが我國の小學校に於ては成る可く男女問題に手を觸れない樣になつてゐる。一ケ所も之に接近した處がないのである。併し小學生にはまだ解らぬからとして恕するとせば、女學校や中學校はどうであるかといふと、やはり女學校の教科書にも中學校の教科書にも全然教へてない。無論女子に貞操といふ事はある。家庭の平和に就て心得可き事もそれはある。併し乍ら其等の根本たる肝腎の男女道德の何者なるかに就ては一言も記す處がないのである。貞操を守れと女子に強ゆるけれども、貞操とは何か、何の爲めの貞操かは曰はない。男女が互に其人格を尊重して、一男一女の人格的結合の婚姻以外に

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

性的欲望、關係といふものは、人間として最も恥づ可き汚行で、貞潔を汚すものは紳士淑女と云へない、といふ樣な事は唯の一ケ所も敎へ居らぬ。だから家庭の平和と云つても家庭の理想と云つても、何等の根柢がないのである。

女學校が將來の淑女を作り、中學校が將來の紳士を養ふ處であるならば、其敎科書に何を置いても眞先に人倫の大本たる男女道德を講じ、一夫一婦の必要を痛切に感ずる樣にしなければならぬ。私は此事を多年考へて居て、隨分敎育の方面の仲間にも話をし、道德の方面の仲間にも語り、當局者にも意見を述べたが、誰も賛成してくれないのである。理論として賛成しない譯ではないが、偉人、傑士先輩に不品行が多くて死屍に鞭打つの感があつたり、所謂今日の貴顯紳士に私生兒があり、妾腹の子卽ち庶子があるから、餘り大きく此事を論ずるのは憚りがあるといふのである。

□懺悔錄を書き得ざるの民

けれども私は昔は昔で、既往は咎めずでいゝと思ふ。現に私の心の中に尊敬して居る一人の如きは、未だ一夫一婦の思想の輸入されない時に妾を置いた。而して其妾腹の子も立派に成人して尊敬すべき人となつてゐる。が其人が時々公會の席に於て乃至個人として度々、自分の一生の誤りは實に妾を置いた事であつたと懺悔してゐる。併し私は此の懺悔一つで罪は消えてゐると思ふ。キリストの如きは汝の敵を愛せよと云つて、敵すら愛すべき事を敎へてゐるではないか、況して先輩たり同胞たる人の舊惡を摘發して攻擊しやうといふ事は毫頭あるべきでない。過去の歷史は過去の歷史として葬るべきである。何も親が妾を置き遊女通ひをしたからと云つて、子孫が其通りにしなければならぬ事はない。妾を置くといふ事も賣笑婦に接する事も時代が許した道德なら仕方がない。今日の思想を以て過去を律する事は沒常識であつて、寧ろ過去の人は氣の毒として同情するのである。

人は動もすれば模範を示さなければならぬといふが、人神に非ず聖人に非ざる限り、過ちがあるのは當然である。故に過を知つて其過てるを子孫に告ぐそれが卽ち模範である。生ける敎訓である。酒を飮めない人が酒の害を說くよりも、酒を飮んだ人が其害の恐るべきを知つて害を說く方が有力である泥棒が自分は泥棒をした。けれども惡かつたから後進の者は不正な事をするなといふ方が力がある。過去に妾を置たり茶屋遊びをした爲め道德を說く事が出來ないといふ事はない。そんな事を云へば孔子かソクラテスでなくては一言も云へなくなる。それよりも過去に於て罪を犯したからと云つてそれに懲りて悔ひるのは結構な事で、妾を置いた人から蓄妾の不道德を懺悔さるゝ方が有效である。日本ではどうも此の懺悔錄を書き得られる人のないのを殘念に思ふ。ルーソーにしてもオーガスチンにしても、何か偉いかと云へば懺悔錄を書いた處が偉いのである。所謂過つて改むるに憚る事勿れで、過去は過去として改めて行く處に生命があるのである。

□舊衣に戀々たる勿れ

然るに一方からいふと、日本人は一體過去に罪を犯した人

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

が悔改めて清くなる丈のゆとりがない。根堀り葉堀りして過去の罪惡を扞發し之を責めやうとする。之は日本人の缺陷であると思ふ。過去を云へば佛も元は衆生であつた。罪惡の人も悔悟によつて神と交通する事が出來る。そこに宗教の寛大なる德澤といふものがある。それを徹頭徹尾罪を責めて葬り去るといふのでは世の中の進歩はない。日本では此議論が盛んな爲め、正義と思ふ事も主張の出來ぬ人が澤山ある。現在それを悔いてゐる人が過去を憚るといふ必要が何處にあるであらう。

先輩偉人傑士に憚るといふが如きは愚も亦甚しいのであつて、どうも私はその處に思想上の誤謬があると思ふ。假へば封建時代には上下を着てゐたからと云つて、フロックは着られぬいふならどうであらう。昔チョン髷を結つてゐたから五分刈にしては先祖に濟まないと考へる者があるだらうか日本人は今迄澤庵や煮しめを食つて來たから、フライやオムレツを食つては先輩に憚りがあるといふ者があるであらうか過去の生活は既に斯くの如く物質的に變つて來てゐる、精神的にも過去の生活を棄てゝ新しき生活に入るのは少しも不思議はない、過去の封建時代に姿を置いたのは、家族制度上の救濟策で、それから蓄妾の慣習が生じ、男子は社會の表面に立つて働くから慰籍的に花柳の巷に出入するも可なりとしてゐた。その習俗が遊廓其他の一夫多妻的産物を生んだのである。羅馬は一日にして成らず、今日の立憲政治も封建制度を通過して成立つたのであつて、今日の立憲思想を以て封建制度を哂ふならば、そは實に滑稽である。結婚制度の沿革を尋ねても、多夫多婦の雜婚時代より一妻多夫、一夫多妻等の時代を經て今日の一夫一婦に進歩したのであつて、今日の道德思想を以て過去の人を禽獸と笑ふ事は誤りである。古く遡れば人間は確に動物生活をしてゐたに違ひなく、それから段々進化したのに、今更動物時代の生活を繰返さねば憚りがあると思ふ者はあるまい。今日の道德思想が既に一夫一婦にあるならば、それに適合する生活が高い生活であり且つ當然の生活である。

□教育の基礎家庭の根本

此の筆法から考へると、女學校なり中學校なり教科書に、何處へか之を現はして置かないといふ樣な不都合な事があるべきでない。其の無いといふ事が何れ程影響するかといふこ遊廓問題の如きも之を女の側から唱へる方が勢力がある。此問題は男子の方から遠慮して行かなくなる樣にするよりも、婦人の方から同性を辱しめぬといふ考になれば解決が早いのである。

然るに良家の婦人にして正しい議論をする人がない。それは一夫一婦といふ事が教科書に書かれてないからで、斯うした問題に就て何等教育を受けた事がないから、自分の夫の問題、自分の子供の問題、自分自身の問題に對する眼が開かれて居らぬからで、偶々一夫一婦などゝといはふものなら人が耶蘇教と云ひはしないか、誰かに惡く思はれはしないか、お轉婆と考へられるだらうといふ樣な下らない心遣ひをして婦人の側で本氣にならぬ。數の上から云つても婦人が本氣にな

れば、日本の人口を七千五百萬として、三千七百萬の女性が起つて我々の同胞の中に斯ういふ人があつては困るといふ樣になれば、忽ち社會は餘程淸潔になり、人類の幸福は進むのであるが、惜しい哉敎科書に一夫一婦を敎へないから、眞の家庭の平和が得られず、淸い樂しいホームが出來ない。

男子の方も忠君愛國は隨分敎科書に見えてゐる。けれども其實を擧げんが爲めには立派な紳士を作らなくてはならぬ。人に迷惑をかけたり、弱い者を誘惑して其の節操を蹂躙する樣な事では忠君も愛國もあつたものではない。忠君も愛國も歸する處は人格で、ゼントルマンにならなければならぬ。然らば其人格といふのは何であるか、待合で馬鹿を演ずる樣な事で人格が作られるか、夫婦互に秘密を有して、一夫一婦を守れない者がゼントルマンと云へやうか。忠君愛國元より必要だが一夫一婦は其の根本である。男女道德の罪人はたとへ刑法が罰しなくとも、道德の上に宗敎の上に非常に否難すべき事である事を知らしむる處がなくてはならぬ。學校敎育が斯樣に良心を養はないから社會に出て屢々不都合をなすのである。

□代議士連の算盤勘定

此間の議會には小學校敎員の俸給の國庫支辨問題があつて非常な人氣であつた。併し之は要するに地方費で出してゐたのを國庫で支出するといふに過ぎない、受ける方から云へば變つた事はなく、其負擔者たる國民の側からも、何ちらから出しても同じことである。それが人氣を呼ぶ位なら、なぜもつとそんな枝葉の些々たる問題よりも、根本的な重大な道德敎育上の大問題が一ヶ所も敎科書に見えない樣な不都合を鳴す代議士が出でないのであるか。

先年南北朝正潤論の起つた時は非常な騷ぎであつたが、あれは要するに死せる歷史上の問題である。それがあれ程世間の視聽を聳動するなら、それよりも生きた問題があるのに何故注意せぬのであるか、桂公などは當時其れが爲め非常なる驚愕をなして樣々緩和策をしたのは衆人の知る處である。それよりも我々個々の問題で事々物々起る處の一夫一婦の問題が等閑に附せらるゝのは實に不可思議の至りではないか。日本では代議士が金を出し入れする事ばかり協議して、又は歷史上の死んだ事實ばかり上下して、我々父母の問題、我々男女間の問題、我々子孫の問題たる生きた問題を考へない。それが爲めに平和なるべき家庭に、樂しかるべき家庭に、自殺者が出來、怠惰者が出來、病毒を蔓延したり、不愉快と不健康とに閉される。代議士にして苟も一國の選良たるを自覺するならば、敎科書の內容でも讀むがよい。豫算を讀むのも大切だが、中學校や女學校の敎科書位は讀んで、どんな敎育が我國に行はれつゝあるか位は考へて見ねばならぬ。今日の人は有形の問題、算盤の問題には實によく氣のつくが、精神上の問題になると少しも氣がつかぬ。だから家庭が衰へ道德が衰へる。一夫一婦を敎へずして三年も五年も何を修身書に書くのであるか。吾人は大に輿論を喚起して、社會廓淸の此根本を確立しなければならぬ。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

櫻鍔恨鮫鞘（おつま 八郎兵衛）

□□浄瑠璃の男女道德（五）□□

一條忠衛

□無筆物の段

八郎兵衛は屋敷奉公をして居る中から得心づくで貰うたのが妻のおつまであつて、二人の仲には既におはんと云ふ物の道理の解る子まで居る。その後、主人は没落して五十兩の金子を八郎兵衛に無心する。八郎兵衛は萬難を排しても此主人の難儀を救はうとして金策にかゝる妻のおつまにも相談をかけて置く。おつまはそれを自分の母に告げる。そこへ重兵衛と云ふ出入の男が來て、金持な香具屋の彌兵衛の噂をする、母は娘を避けて重兵衛と込み入つた話に及ぶ、百兩も持つて來るならば娘の聟にしても能い相談が纒まる。母は娘のおつまに一應相談を掛ける。一時香具屋の彌兵衛を聟に入れて金を拵へるに過ぐは無いと説く。さうすれば其金でお前の夫の主人の難儀も救へて忠義が立つと云ふものである。さうで無ければ五十兩の金を拵へるとは到底吾々には出來ない勿論八郎兵衛にも覺束ないこの場合涙を飮んで一時八郎兵衛と縁を切つて彌兵衛の妻になつて呉れろと願ふおつまは母樣子まである仲をそれは餘りに胴慾であると云つて泣伏して反對するお前は親の命に背いて不孝をするのであるかと責め寄せて遂に娘を承認させる。

これ迄の事件の經過に就いて吾々は何を感ずるか家族主義道徳の弊害を痛切に感ずるのである。親は自分の意志を以つて子の結婚を自由に改廢することであるが子は自己の圓滿なる家庭を閉ぢて親の命令に從はねばならぬことである。それから身を賣らねばならぬことである。斯うした忠孝の德の爲めに、男女道德が破壞され、夫婦の理解を缺き、家庭の滅亡となり、個人存在の無意義となり、玆に一邊の悲劇を産むのが此の浄瑠璃の筋である。

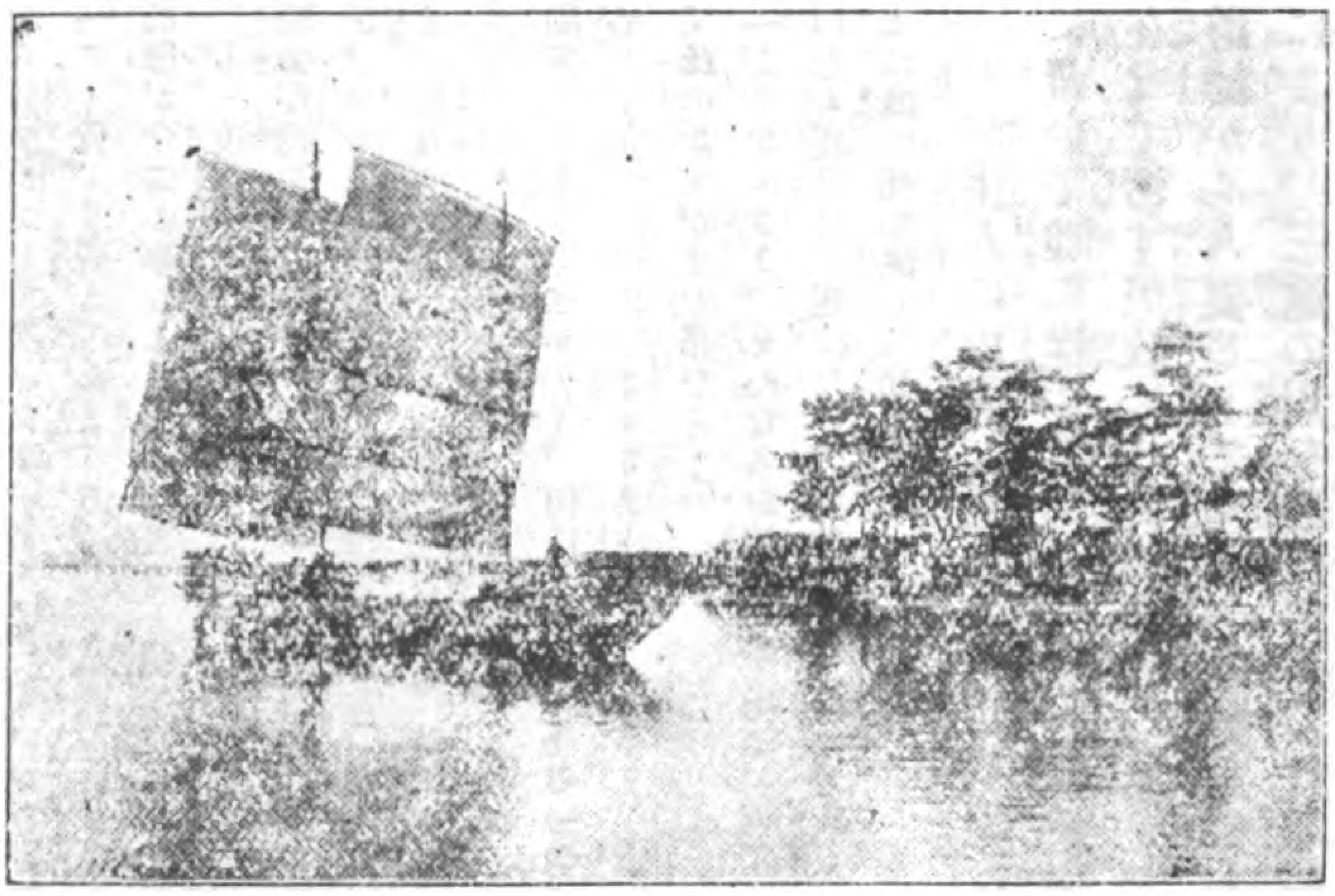
今日は彌兵衛が聟に來ると云ふので、おつまは朝から化粧をして身仕舞が出來て居る。そこへ八郎兵衛は外から歸つて來る。お半が飛んで出る。

「とゝ樣夕から待つてばかりゐたわいの。」「ナ、留守であろ〳〵、吾儕がてつきり待つてゐようと思ふて途で買うたうづら燒、コレマア一つ食うてみや。」と甘い土產を袂から出す。「コレはゝ樣、とゝ樣に土產貰うたお前にも一つ遣ろかへ。」とお半が云つても母は答へない。「コレ〳〵おつま、マよう來よとも云ひもせず、俯向いて計りゐるのは、イヤ聞えた、アノ此中から賴んでおいた金の工面が出來惡うてかや、吾が身の手で出來ずば、又外に工面もあらうぞいの。女夫の中に何のマア、遠慮することがある。」「イヽエそんな事ぢやないわいな。」「ウム夫れでなくば、マ何ぢやあらう。」

□　□　□　□

斯う云ふ會話が續いて、遂に兼て鏡の面のやうに光つて物と影と呼應した居た夫婦の全的理解に、一つの妖雲を生じたこの妖雲を敢へて起したのは勿論おつまであるが、また此の妖雲をやがて自分の手で拭き取ることを保留して居るのもまたおつまである、けれどもその前後を付度する手段のない八郎兵衛は、單に中間

に彷徨つて生きて居なければならぬ迷兒に陷つた、夫婦の生活は全通的愛情でなければならない、中間の空虛的生活を許さない。八郎兵衛が云ふ如く、女夫の中には秘密や遠慮を挾むことは宜しくないおつまが假令良人のためであつても、一身上の大事を愛人の八郎兵衛に相談せずに決したことは抑もの不徳であつた。それが良人の爲めであるならば尙ほ一層のこと相談を持ちかくべきであつた。夫婦は別々の道德的個人であるから、日常一々の道德的行爲に附いて相談に及ぶべき限りではないが、夫婦の全的理解の鏡面を曇らす性質のものであるならば、如何なる道德的行爲にせよ。性的生活には重大事件であるから胸襟を開いて談合すべきものであり、その鏡面に秋毫の疵の附かないやうに心懸けねばならない。それが貞女の德である。然るに德川時代には斯うした新道德の批判的理論がないので唯だ何でも彼でも夫の究竟の目的の爲めになる事ならば、手段は惡でも、勝手に決行すればそれは秘密であつても聽て夫に對する貞節になると考へて居た。おつまは此の貞節を爲さんが爲めに秘密の裡に事を擧げた。八郎兵衛は飽までおつまを善意に解して尙ほも理解の絆を見出さんとして居る所へ、おつまの母親が出て來て女夫緣切の話をする。八郎兵衛は當惑して、夫が女房に暇を遣るは世間の大法であり乍ら、女房の方から緣を切るとは何んな譯ぢやと詰寄る。



下手の掉す小船涼しや棹の露

母は一チ、聟を取りました、ア慮外乍ら嫁には歴とした男がござる、うか／＼と長居はなるまい。早う去んで貰ひましよ。」と云ふ八郎兵衛は膝立て直して怒り、三人の間に長い押問答が始まる。そこへ香具屋の彌兵衛が奥から出て來て八郎兵衛を侮辱し、お半を踏みちらして遣る、二人の間に口論が始まつたが、八郎兵衛たまりかね「コリヤお妻、畜生めらに物はいはねば是程の事を仕出すからには、我れが知らぬと云ふことはあろまい。譯を聞かねば暇やらぬ、包まずいへ。」「ホヽこりや可笑しい。何程お前が夫程にいはんしても、母樣には換へられぬ。くど／＼いはず早う去んでくださんせ。」「スリヤおのれも得心の上、彌兵衛と夫婦になるのぢやな。我れ夫では立つまいがな。」「ホヽヽヽハヽヽ、テモ立つも立たぬも金次第ぢやわいな」「チ金に目がくれ夫婦の義理も思はぬからは、一言二言もない、けんどん邪見な倖等に可愛いおはんは渡されぬ娘よこい。」と手を引いて行かうとすれば、しく／＼と「父樣ごつこへも去て下さんな。わろいとがあるならば、餘所のお爺さまに詫言して、かゝ樣と一所に爰の内にゐて下され、拜みまする父樣と縋り附く、八郎兵衛は我が子を抱きしめ「子心にさへ其やうに思ふもの倖れや何とも思ひをるまいナ。犬さいはうか猫さいはうか、イエ譬へん方なき人外め。」と摑みかゝらうとするを、彌兵衛が押し止める。八郎兵衛は彌兵衛を一裂きにしようと思ふのを、主人の大事に引かれて、此の場はこれ限りにして出て行く。

□ □ □ □

これ迄の出來事に於て最も重大な事件は「何程お前が夫程にいはんしても、母樣には換へられぬ。」と云ふおつまの答であ

る、若しおつまが最初母親に對して反對した通りに子まである継仲であれば親には不孝になつても其の方針で進めば事がなかつたのである。けれどもおつまは八百屋お七の如く夫を主とする新道徳的態度がなく、飽く迄も親を主として傳習道徳を奉じた爲めに、夫が如何樣に責めても母親の命令には換へられぬと出たのである。堯舜以來、孝を主とする國では實にも道理であると申さねばならぬ。これは明治の代を通じ大正の今日でも尚は天下多数を支配して居る傳習道徳である。徳富氏の不如歸にある武男は此のおつまに男の皮を着せた軍人である。この武男はお七に劣ること数千歩である。おつまは此の傳習道徳に從ひ親のために犧牲になつたが、その結果子に對しては不孝になつた。お半は父母の破鏡を眼前に見てその孰れに歸依して能いのやら決するに由なく、唯だ子供心に父母が昔の如く仲よく一緒に居ることを望んで居るのみである。舊劇の舞臺を眺めて居ると、八郎兵衛がお半を抱いて落涙し、おつまを瞰めながら狂氣の如く猛つて

「子心でさへ其やうに思ふもの、侍れや何とも思ひをるまいナ。犬だといはうか猫といはうかと。」腹から悲聲を發すると、おつまは斷腸の思に消え入るやうにヒーと云つて泣き苦しむ所は觀者を泣かせる樣に出來て居る。母が彌兵衛を伴ひて奥に入ると、おつまはお半を涙ながらに膝の上にかき上げて「コレお半、此間から云ひ聞かして置いた事、よう覺えていやるかや。」「アイ皆よう覺えてゐまする。」「チ、賢い子ぢや、コレ此母が今云ふ事をよう聞や。吾身も頓て成人してごうでも一度は嫁入する身、たとへ[illegible]がゐゐとても二度の殿御を持ちやんなや。」「アイ夫もよう合點してゐまするが、コレ母樣お前は何として泣かしやる、氣あひでも惡いのなら藥買うてこうかへ。」おつまは時雨るゝ涙のまゝ私語く。「八郎兵衛殿、嘸ぞ腹が立たうけれどこれ勘忍して下さんせエ〳〵。何にも知らぬ此のお半、一年〳〵立つにつけ、とゝさま生寫し。何ぞ〳〵出世して此のかゝがとひ吊ひ……」「これかゝさま、そんならお前はもう死なしやるか、わしも死にたい死にたい。」と母に取り附いて歎くおつまは既に死を決して居る。

夫が主人に忠義を立てる爲め、又は夫に背いて親に從ふために、身を彌兵衛に任せて汚すが故に、貞婦兩夫に見えずの道徳から人妻として生存の價値を失したにより、三途の川を渡つて夫の八郎兵衛に詫びる精神である。徳川時代には貞操の道徳が發達して「貞婦兩夫に見えず。」と云ふ規範が嚴然としてあつたが、君臣の義又は親子の義又は夫婦の義の爲めにはこれを侵しても能いと云ふ特別法が存して居た。但だ侵してから後ちその義の成立を見ると同時に此特別法は意義を失ひ、一般法に歸るから「貞婦兩夫に見えず」の社會的正義を毀損しないやうに、死を以つて社會に詫びねばならぬことになるこれは君臣親子夫婦の人倫關係に於て道徳がばら〳〵に出來て居て、有機的に調和的にその關係が批判されて居なかつた結果である。夫婦の愛と云ふ道徳的生活を犧牲にして君臣親子夫婦の義を立てようとすることは決して道徳では無く、反つて不忠であり不孝であり不貞であることを知らなかつたのである。夫を主人に對して忠義な者に爲し自分を母に對して孝行な者に爲しても、自分の子を置き去りにして死ぬことになれば、子の教育は不充分になり、夫は鰥夫となり、父子諸共に不遇の人とならねばならぬことに考へ及ばなかつたのである。斯の如く自己の最愛な夫と子とを逆境に陷れても尚は親に孝でありさへすれば、また夫が主人に對して忠義でありさへすれば、婦道が立つと思ひ込ませた當時の道徳の如何に主人本位親本位であつたかに驚き入らざ

るを得ないのである。おつまがお半に「二度の殿御を持ちやんなや。」と敎へるなどは、横に這ふ親蟹が縦に這へと子蟹に責むるやうなもので、少しも敎育には成つて居ない。

□　□　□　□

やがて彌兵衛は奥座敷から出て來て、お半を邪魔になると云ふので家の外へ突き飛ばし、おつまの手を取り二人は親の許した夫婦でござると云ふので寢床へ連れて行く、八郎兵衛は秋風に吹かれながら三更の鐘に忍びつゝ頬冠りを爲し、恨みの鮫鞘を腰に差し今一應おつまの心底を試して見んと門口に立つ。

「ナアそこにゐるはお半ぢやないかナア父樣か。」ヨウ〳〵此の闇いのに俺一人どうして、かゝはどこぞへ行きなつたかイ、エか、樣は内にゐて俺一人爰に置いておぢ樣と寢ていやしやる。」「ヨ、〳〵何といふ、スリヤアノ俺を門へ放りだし、彌兵衛と奥に寢てゐるのかイエ可愛いそなたを構はつからは、男の義理も眞實も捨てたにこりや違ひないわい。」と鞘をキラつと拂つて門の戸を蹴放して馳け入る。音に驚いて出て來た母親を眞二つに切り下げ、續いて出て來たおつまの片腕を切り落す。彌兵衛は逃げ出す。八郎兵衛はこゝを命の置き所と刀を逆手に取り直すと、お半は「父樣死んで下さるな」と云つて刀の柄に取り附く。八郎兵衛は我が子を抱いて涙に咽ぶ。そこへ銀八と云ふ男が來て主人の樣子を話し一時自殺を思ひ止まらせようとする。お半は何か拾つて「ア、と、樣見て、書置のこと」と云つて讀む。八郎兵衛はこれを聞いて驚く。書置には主人の難義を救ふには金が要ると云ふことであるが。母親と云ひ合せて、夫の爲めに此身を汚したとある。これ迄愛想盡し聞かさぬお前に愛想を盡かしたのは、譯ないへば留められると思ひ留められゝば矢張り主人へ不忠になると思つたからであるとも書いてある。それからお半の敎育を頼み無筆であるから後は充分に書けないと結んである。八郎兵衛は聞いて正體なく悲しみ「エ、聞へぬわい〳〵女房、そういふことならつひ一言、明していはゞ此やうなむごいめはさせぬわい。たとへ顔が立たぬと云うても、お主ゆゑなら何の留めうぞやい。理非も糺さず二人共切て捨てたは何事ぞや。敎して下され母者人。堪へてくれよ女房。」と空しき死骸に取り付いて悔み歎く。

□　□　□　□

八郎兵衛の此の歎きはおつまが兼ねて夫に對して保留して置いた夫婦間の不可解が死によつて氷解させたからである。主人の爲めであつたならば彌兵衛の妻になることを拒むのでは無かつたと云ふのである。卽ち君臣の義の爲めであるならば、愛妻が肉を賣ることを是認するのであつたと云ふのである。これに由つて觀れば八郎兵衛の道德觀も傳習道德そのまゝであつた。恨の鮫鞘は單に一時の誤解から生じた事件に過ぎないことになつたその不見識なことはおつまと同一である夫婦の戀愛に存する靈肉を裏切つてまで君臣の義理や親子の義理を立てようとした結果、必然の傾向として道德的錯誤を生じてこの一篇の悲劇を演じたのである夫婦と親子と君臣とは個人と家族と社會との人倫關係である。その合理的に調和され組織された點に於て、道德的規範を有するのである。個人に存する夫婦の戀愛を無視して、家族と社會に偏する忠孝の德を高調すれば何時の世に於ても貞操の切賣と恨の鮫鞘とは絕えないのである

□高島米峰氏曰く

或村では、衆議院議員の選擧に當つて、個人としては決して投票の賣買はないが各候補者が其村に寄附する金額によつて、其村長が村内の投票數を按分比例で割付ける、假へば百圓出す候補者は二十票、七十圓の者は何票、五十圓のものは何票と云ふ事である。而もそれが當て、一糸亂れぬといふ事で模範村として内務省に表章されてゐる村だから驚くではないか。

選擧人が此有樣である上に、代議士には午前五時といふ先生がある、新聞に登院第一の名を記して貰ひたい爲め、朝の五時といふに議會に出かけ、まだ門が締まつてゐたので開くのを待つてゐたといふ。情ない先生が出來て來たものだ。斯うなつては全く沙汰の限りだね。

夏季の家庭衛生

女子醫學專門學校長　吉岡彌生

身體の各個の機關を丈夫にすることは、如何なる時でも必要でありますが、特に夏は痛切に其の必要を感ずるのであります。

■機關の機能を障りなく……活すものは食物であります■

病は口からと申しまして私共が活動するエネルギーを作る食物の不攝生から種々な病氣を起すのであります。特に急性腸加答兒とか赤痢抔は不熟な果物、或は少々弱つてゐる食物などを知らずに食べたりすることが主なる病源となるのであります。

然し夏は身體の組織が緩んで惰弱になり、火箸やお膳箸を持つことさへも大儀なので、從つて余り食慾も進みません。其の上咽喉は乾きますから自然と氷やサイダー、男の方なればビール抔無暗に多量に御上りになりますが餘程之は注意せなければなりません。

■食物を消化するには能く……嚼み碎かなければなりません■

之は食料の中にある澱粉を撚つて、胃の中に入り理學的、化學的に消化し、それから腸へ來て營養物は吸收されるのであります、乃ち此の唾液を以て嚼み碎いのたものは胃で胃液の爲に消化さかるのでありますから、水分を胃の中へ入れますと自然胃液を稀くするのであります、從つて胃は消化の機能を失ひ種々な病氣を起します。俗に胃病は百病の基と申すのもこれが爲めであります。夏であるからと申しましてサイダーや、氷抔を澤山召し上ると直ぐ胃腸を害して腸加答兒抔を起すのであります。殊に酒類は急性の腸加答兒及び慢性の腸加答兒を起すのでありますから餘程之を愼まなければなりません。冷しビール抔も無論余り召し上らぬ方がよろしうござゐます。

□酒類の身體に及ぼす害の……著大なることは今更贅言を□

要するまでもなく皆さんは御承知のことゝ存じますが日本人の體質から考へて見ますと、西洋酒は日本酒も二増倍も三増倍も害があります。而して洋酒に限らず日本酒でもビールや燒酎抔を混ぜて、俗に云ふチャンポンに飲むと云ふことは隨分健康に害を及ぼすのでありますから特に注意を怠つてはいけません。夫れは假りに直ちに害を及ぼさないでも必ず間接に害をすることは云ふまでもないのであります。

時節柄よく咽喉が乾きますので、其の喝を醫するにはお茶か、麥湯の樣な一度沸かしたものを用ふるやうに致せば比較的に安全であります。水道の水は少しばかり子供に與へるも差支はありませんが自分の體溫以下に冷却したものを飲むことは非常に害があります、之は自分の體溫と調和が出來ないからであります。

それから晝寢は永くすることは禁物であります、それは凡ての身體の活動が鈍るので睡眠を催すのでありますから、其の疲れを醫する爲に晝寢をするのでありますが、其の時間は一時間を越へてはなりません。

□恐るべき死□

酒は敵である。酒の爲めには身を亡ぼし、祖先傳來の家財を倒盡し、延ひては社會に其害毒を波及する事甚しい。之を矯める最も容易な方法としては子供の時代から飲酒の風を見習はせぬにあるとは前號に於て片山博士の述べられた處であるが、茲に其適格な實例がある△彪は大阪市北區北梅田町仲仕業藤山熊藏の弟榮太郎といふ當年八才の兒童は、父が名代の大酒飲みなので、早くから飲酒の風を習つて居た△兩親の死亡後前記熊藏が引取つて養育して居るともう酒癖がついて居て飲み度がつて困るので飲ませないやうに常に嚴重に注意して居た處榮太郎は去る、六月二十五日午後三時頃家人の隙に乘じ七合餘りの酒を持出して近所の留守宅に子供五六名を集め酒宴の眞似事を初めたが、調子に乘つて三合許り獨りでグイ〳〵と續け樣に呷つたから遂にへべレケに醉潰れたが、其儘人事不省に陷て了つた。此騷ぎに附近の醫師を迎へて應急手當を加へたるも遂に翌日午前死亡して了つたといふ實に恐る可きはアルコールである。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

□睡眠時に大人でも子供でも……
……煽風機を傍に置くことは□

非常に悪いことであります。睡眠の時は新陳代謝は餘り行はれないのでありますから、強い風で皮膚を刺戟すると肺炎を發する虞れがありますから、寢るときは浴衣一枚位着込むで、單衣物一枚位上に引掛ける位はよろしからうと思ひます。

強壯な青年などには大して障りのないことでありますが、子供を暑中の炎天に歩るかすことも氣を附けなければなりません、即ち午前十一時頃から四時頃まで歩行させることは日光の直射で腦髓を害ひ腦溢血を併發することがあります。

それから暑いとて度々御湯に入ることは考へものであります。入る度數は一日に多くて二回、大抵一回に止めておき、餘り長湯をしないが宜し。度々入浴したり、長湯することは元氣が消耗して疲勞をしますし、汗でもかいた時は奇麗に拭き取て置けばそれでよろしい。其は絶へず吾々の皮膚は排泄作用を行つて居るのでありますから、汗に塵を混じて毛穴を塞ぐ時は此の作用が能きなくなりますから、自然と内に病を起す樣になるのであります。

また今頃になりますと能く日射病が流行するのでありますが、それは白晝三時間も四時間も、のべつ働き續けると此の病に犯されます。此の時は通常眩暈頭痛を起す、嘔吐を催し、まして強い激しいのになると人事不省に陷ります。其の時の救濟法は頭と脚の先には必ず氷で冷し、心臓部も氷で冷し、灌腸でもして安靜に眠らして置き正氣付けば氷でも飲ます位にすれば大變元氣を回復するのであります。

女學生の婿擇み

滋賀縣立大津高等女學校にては明年卒業すべき同校生徒に「結婚に對する理想」を知らんとて、數項の問題を出し、匿名にて忌憚なく答へしめたる結果、左の如き統計を得たりといふ。答案提出者は七十二名

△家族に關しては

一、舅姑共にある家　四六
一、姑のみある家　九
一、舅のみある家　三
一、舅姑小舅小姑の一切なき家　五
一、舅姑小舅小姑等みなある家　五
一、小舅のみある家　二
一、小姑のみある家　二

舅姑に就いては、「優しい」人とか、「物のよくわかる人」とか附記あり、小舅小姑に少いては、「自分より年若き」人とか、「十歳位ならばよし」など注文あれど、舅姑共になき夫婦のみの氣樂なる家庭を希望する者の絶無なるは意外といふべし。

△財產に關しては

一、多少ある家　五二
一、多くある家　七
一、少しもなき家　一三

多少の財產といふ中には、「相當の貯へある家」とか「多くは望まず萬一の場合に困らぬ程度」とか、「實家と同等位の不動產」とか、「多からぬを好む」とかいふを含み、多きを望む中には「十萬圓以上」とか、十五萬圓以上」とか明記せるもあり、財產に望みなき者も、「夫に腕さへあれば」と條件を附したるものあり或は「有りても無くてもよし」と超然たるものあり

△良人の人物に關しては

一、相當敎育ある人　三四
一、男らしき人　二五
一、酒を飲まぬ人　一八
一、體格の立派な人　一六
一、眞面目な人　一五
一、酒も煙草ものまぬ人　一二
一、温厚な人　九
一、趣味ある人　九
一、敏腕家　七
一、愛情深き人　七
一、風采其他　六

△敎育ある人といふ中には、「高等敎育」と特記したるもの二十五人あり、他は「大學を出た人」「專門學校出身者」「少くとも自分より多く敎育を受けた人」などあり。男らしき人と云ふ中には、「さつぱりとした人」「毅なるもコセ〳〵せぬ人」「度量の宏い人」「少々金を使つてもよいからケチ〳〵せぬ人」「色に黑き方よし」「武骨な人」「あまり多辯でない人」「活潑中人」快活な人、陰氣な人は嫌ひだ」「柔弱な人はイヤだ」などを含む。酒をのまぬ人の中には、「酒の嫌ひな人」「禁酒の人」「煙草は少しのんでも酒はのまぬ人」などあり。體格は「丈夫な人」「悪い病氣のない人」。眞面目な人といふ中には、「品行方正」「堅い人」「たしかな人」「勤勉家」「物事に熱心な人」などあり。趣味ある人といふ中にには「謠曲の趣味ある人」「なるべく自分と同趣味の人」「旅行の好きな人」「文學趣味ある人」を含み、敏腕家の中には「大事業を左右する腕のある人」「陸軍大學に入る見込のある人」「秀才」などいふを含む。愛情の項中には「妻を愛する人」「妻を勞はりくれる人」「深切な人」「子を愛する人」などあり、要するに、相當敎育あり、眞面目にして確乎なる手腕あり、體格が立派で、深切で、酒は飲まず趣味あり、而して風采の醜からざる男子が理想の夫といふに歸着するが如し。

△良人の職業に關しては

一、實業家　三三（內農二一）
一、軍人　一五（內海軍一）
一、官吏　一四
一、醫師　三
一、政治家　二（外交官一）
一、敎育家　二
一、畫家　二
一、文學者　一

實業家を希望する者約半數なるが、其內農と附記せるは僅に二にして、他は商工業の希望者なり。實業熱の勃興が如何に女學生にまで影響せるかを見よ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

勤勞主義の敎育的價値

東京市敎育課長 守屋恒三郎

□兒童敎化と學校及家庭

近來學校では大變に其の仕事が擴くなり、學校以外の仕事まで學校の力で行はうとして居る。其の結果學校を以て社會中心とし兒童敎化の全責任を負擔せしめると云ふことは歐米先進國の間には少くとも敎育界の大勢となつて居る。或る多くの學者や敎育史家は此の傾向を學校敎育の進步である、敎育上の發展であると論じて居る。日本でも此の傾向が著く見受けられ學校での讀書算の外か種々の方面に其の仕事を擴張して來た。從つて家庭の方では仕事が減少して來たので兒童の凡ての仕事には責任が伴ふから若し兒童が一寸惡いことでもすれば直ぐ學校は惡い、責任が學校にあると云ふ風に申される。例へば、昨年或る小學校の生徒が賭博した時に直ぐ學校の責任問題が持ち上つた。亦先日某銀行家の令孃は、某官吏の自働車の爲に憐れな最後を遂げた時、或る人は、之を學校の兒童監督不行届に歸し、生徒の途上の注意を疎かにした罪だと云た樣な意味の投書は當局の方へ舞ひ込むだ。斯樣に其の責任を學校へ轉嫁しやうとする傾向が著しくなつて來た亦一方にはエレン、ケーの如く現代の學校は兒童を敎化する處でなく、兒童を虐待する處であるから學校と云ふものを全然廢して家庭で自由に兒童を敎育せなければならぬと云ふ極端な議論をする人もあるが、敎育と云ふものはエレン、ケーの如く如何に現代の學校は敎育方針を誤つて居つても、家庭のみで爲し遂げることは出來ない。亦今日の傾向の如く學校ばかりにも全責任を負擔させると云ふことが能ない。之は一般の家庭に於ても充分注意せなければならぬことと思ふ。

家庭の仕事が減少して悉く學校に責任を轉嫁して了つた處が學校だとて其の樣に手の廻るものでない。そこで如何しても學校で爲すべき仕事の範圍を定め、家庭で爲すべき仕事と區別しなければならぬ。然らば家庭の仕事は何であらうか。

□家庭の仕事と勤勞敎育

學校で行る兒童に課してる學科を大別すれば智能學科と技能學科である。前者を靜的學科と云ひ、後者を動的學科とも云ふ。靜的學科に屬する科目の內には、讀書、算術、地理、歷史、理科等で、動的學科に屬するものは裁縫、手工、圖畫、體操等である。現在小學校の科目は十八種で總て兒童に智識を注入して此の智識を動作に表はすを目的として居る。手工は動的學科の內で重要なものであるが、家庭では兒童がボール紙で箱を作つて來ても竹細工を作つて來ても何の効能があるかと云つた如な工合に何分理解されて居ない。算術が不出來であれば子供は低能でないかと心配する人が多いが、手工等が下手であつても、此の子は手先が不器用だと定め込むで仕舞ふ。亦敎ふる敎師自身も此の手工の科目の必要を疑ふものもある。然し想う云ふ手工とか裁縫の動的學科目は理論上如何に重要であつても我が國の現在の經濟狀態では此の科目を兒童に有効に使ふことが出來ない。一の學校(只生徒が座るだけで、設備のないもの)を建設するだけでも十四五萬圓を要す、然も其の上、種々な設備の完成を期し、兒童に此の動的敎科を充分に課して其の効果を收めやうとするには少くとも今の建設費の倍額を要すであらう之れでは到底吾が國の經濟狀態で云ふべくして行ひ得べき事でない。於茲吾が國では家庭と學校との責任を分たなければならぬことになるのである。

勿論亞米利加のデユエー氏は「明日の學校」と云ふ書物に盛に勤勞敎育と云ふことを唱へて居る。卽ち之は讀書算ばかりでなく兒童に勤勞、勞作の習慣を與へて此の動的學科の効果を十分に收めやうとするのである。從つて氏は、敎育を以て生活其のものであると說いて居る。スペンサーの敎育は實際生活の準備であると云つたよりも遙に現代の社會狀態に符合してる樣に思ふ。獨逸のテレセンスタイン氏抔も此デユエーの說を採つて盛に勤勞敎育を唱え今や歐米の敎育界を風靡して居る。吾が國でも此の二者の學說や、事蹟を知らなければ敎育家でないとまで云はれてゐる位である從つて歐米の社會では勤勞敎育を重要視して、而も學校を以て兒童敎化の全責任を負擔して居るので學校萬

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

能主義を採て居る工合である。今述べた如く彼等に於て見る勤勞教育は、我が國にては經濟の關係から到底此の方針を採ることが出來ないのである。

□我が國の勤勞教育

無論我が國でも勤勞と云ふことは昔の家塾などでもやつたやうである。學問以外に拭掃除をする、煮炊もする、其の間に學問以外の智識を得、且つ修養の方法を悟るのである。此種の事は禪の方でも行つて居る。之を作務と呼び、座禪の外に心身を鍛練するのである先づ典座と云ふ事をする。之は炊事、夫れから飯頭、浴頭＝之は風呂番のことであらう、磨頭＝之は米を磨ぐ事、園頭＝之は野菜の耕作、把針＝之は裁縫である此の如に禪の修業には種々なる動作が伴ふのであるが夫は必ずしも下端の僧がするのでなく、道心堅固の者が修するのである。如斯昔から一方に智的教育(靜的)を施すと共に、一方でげ技能的教育(動的)を行つたのである。

現今學校には前に申しました手工を課して居るのも此の種の意味が含まれて居るのである。此の學課を課するに至つて近々十數年を經て居るが其の意味を一般に了解されて居ない結果余り効果を收めることが出來ないので從つて此の讀書算の智的教科を主とするより外に致し方はないのである。

□勤勞教育と余の希望

恁ういふ工合であるから結局、手工とか裁縫とか云ふ智的教育以外のものも學校で行るのは餘り効果を納め難いのみならず、餘程困難な仕事であるから此種のものは家庭で行ふ方が遙かに便利である。將來の學校教育は大體に於て讀書算位に止め其他は凡て家庭に於て行ひたいのは余の希望である。西洋でもマキーバーと云ふ學者抔は此の論者である。家事の手傳ひなどゝ云ふ事は此の意味で家庭に於ける最も重要な事であつて、今日まで家庭に行はれて居る家事手傳ひなども十分に整理して教育的にすれば其の効果も決して少いものでないと思ふ。卽ち手足を動かす仕事としては朝夕の拭掃除とか、庭の植木鉢を直すとか、手拭掛の破れたのを繕ふとか云ふ風な事とか、亦頭を働かす事では客の應對とか、手紙の往復とか云ふ事で手紙一本書くのでも學校で漫然と作つた作文よりも、實地に書く手紙一本で多くの頭を動かせ知らず〲大なる教育となつて行くのである。

マキーバー氏は之に就て斯う云ふ事を云つて居る「凡そ此の種の教育は原始時代の教育に歸つて土から物を作らせる、例へば土地に孔を掘る、耕やす、種子を播く、蔬菜、果樹を植へる、犬を馴らす、進んでは馬に親しみ之を牧する。羊や鷄を養ふ、是等のことは既に七歳の就學兒童なら充分に行ひ得る」と云ふ。尤も之は親に教育的の頭腦が無くては駄目であるが、要するに學校の教育は讀書算に止めて置き其余りは家庭に於て實地に之を行つて初めて効果があるのである。今は暑中休暇で各兒童に實地に之を行はしめるには最もよい時機である。

□□□笠岡警察の暴状□□□

備中笠岡町伏越遊廓貸座敷松月樓事向井昌一郎方出稼娼妓福丸事宮本こなみ(廿二才)は本年一月前借金參百五拾圓にて前記松月樓に出稼したるものなるが附來強度の梅毒に罹り岡山病院に數回入院したるが未だ全治に至らず、昨今は其毒が頭部に迄のぼり苦痛堪え兼ねるにも拘らず、樓主に醜業を強いらるゝを以て今は詮方なく自由廢業を思ひ立ち、且つこの醜業の罪惡なる事を深く感じ、名簿削除の申請を爲さんものと六月卅日午後四時頃、同町西本町救世軍笠岡小隊に到り事情を述べ援助を乞ひたれば、居合せたる救世軍中國中隊長高城中校は早速娼妓こなみと同道にて笠岡署に出頭し、自由廢業を申請したるも同署にては樓主と連印の上に非ずば廢業を許さぬとの事により、中校は内務省令娼妓取締規則(第六條。娼妓名簿削除に對しては何人と雖ども防害を爲す事を得ず)と云ふ明文に基き娼妓が自由廢業するには樓主の連印等の必要なき事を辯じ、且つ又當人が廢業の意志確固たる以上は廢業せしむるを以て正當なりと辯ぜしも、警察側にては頑として聞かず。よりて中校は本人を携へ更に其筋へ上告せんとせし處、四五名の警官立ち上りて當人を拉し去り無理むたいに二階に押上げ高城氏に面會せしめず、且つ無斷外出の故を以て拘留五日に處せられたり、小濱は自由廢業をするの目的を以て警察に到る途中一時間を經ざるにも拘らず、拘留に處するは不穩當なる處置のみならず、警察側にてはその數時間後に樓主をして當人が無斷外出せし旨を屆出しめて恰かも當人が警察に來らざる前に樓主より無斷家出の屆を出したるが如き虛僞の手段を弄したるを以て、中校は早速岡山縣廳に知事及警察部長を訪ひ事情を具申してその處置を待ち又一方當局へ上申する事となりたり。

廓清春秋

河合北洲

□水と火

水は下るべく流れ、火は上るべく燃ふ流るゝものに蒸發の循環あり、燃ふるものに潜熱の保存あり。人類の年中行事は此二法の調節に在りて、夏には水に奔るを急ぎ、冬には火を慕ふを禁ずる能はず千歳一律、一日の禁斷を敢てせざるや、飲むべきの水を欲し、食ふものゝ火を要する如き、水火は實に人生と自然に渉るの二大橋梁也。

大根人參の價は、其太りたる水の價にして、牛豚肉の食膳に上るは、移さんと欲する熱の要求に外ならず、人體の筋骨も赤水の冷熱に依りて、其死活を決すべしとせば、人類も亦た直ちに調節せられたる水火の蒸汽機關たる也。

自然の軌道を走る宇宙の蒸汽機關、一たび調節の分度を誤れば、氾濫の洪水は地を呑み、動植を流し。爆發の噴火は山を裂き、磐石を飛ばす。大宇宙の然るが如く小宇宙の社會も亦然り、腐敗の濁流は、個人より發して國家を沈淪し。罪惡の業火は一炬能く家庭、社會を延燒して世界を戰亂の火宅に投ずるを避くる能はず。況んや、大列車の轉覆が脫線の一呼吸に在るをや。

口の一呼吸、尚ほ火を消すべし、火を起すべし。これ日常の茶飯事にも水火劇の絶へざる所以也。一家庭にも、理智の水性あり、感情の火性あり、意志の外水內火あり、以て風波の來るを待つ、一呼吸の風波既に來る火力一旦水力に勝つも蒸發せる後の沙漠觀なきに非ず。水力能く威壓するも、閉塞せられたる噴火坑の何時までか續くべき。かくて不斷の平和は、細心の警戒と忍耐を要し。分厘誤らざるの調節は、不休の用意と謹愼を必す

不良少年の種類と感化

醫學博士　三宅鑛一

不良少年には犯罪者と同じく先天的のものと他動的のものと二通りあるが此中で最も注意を要するのは前で之は精神に缺陷があるのである。歐洲では感化院に入れる際醫師が嚴重に診察し果して前者なるか、後者なるかを判斷して之を區別する。そして全不良少年の三分の一乃至四分の一は精神に異狀のあるもの即ち先天的のものである。

□日本でも　東京及び大阪其他の感化院の兒童二百五十人に就て注意して見たら其中の五十パーセントは低能又は精神病者なることを發見した。歐洲では精神病學者と敎育家とが協力して先天的不良少年を除いて他に惡影響を及ぼさない樣にして居るが我國でも其必要がある。此の生來的不良少年の特徵としては第一道德上缺陷のあること、卽ち悖德性、興奮性乃至反社會性は其の缺陷ある證據で彼等は道德に對する思想の發育が鈍く少さい。

□子供を酷　め動物を虐待する等殘虐な行爲を平氣でやり善惡の判斷が付かず監獄に入れられても惡いと思はぬ。此種の少年は掻拂ひや竊盜を行るのが多い第二は或る場合に興奮するもので之は一寸氣に入らない事があると直ぐ憤慨して亂暴しナイフや棒で人を傷つける事がある。此の種の少年は中年になると誘惑に遭つて墮落し易い。第三は病的の

□意思薄弱　て之は物を熟慮する事が出來ず常に氣が移り空想を逞しうし空想と事實とを混ぜて嘘を云ふ氣がなくつて嘘を吐く、第四は病的虛言者で空想

るに至ては、人生も亦勢せりと云ふべし。寧ろ自心の氷炭を去て、春風駘蕩、熱時には熱殺、寒時には寒殺以上の新世界、新天地を發見せんには。自心の氷炭を去るは、天の水火を呼ぶに如かず、聖靈の水は貪欲の頑氷を溶去り、聖靈の火は煩惱の新炭を燒盡さゝれば已まざるものあれば也。これ人生の蒸汽機關を日々に改新し、其機關手を斷へず警醒し、刻々活躍せしむるの惟一法にして、然も又大々宇宙に通ずるの大々橋梁也。而して此大橋梁は則ち新世界、新天地の通路たる也。

□光と熱

吾人は今や、光を以て間口となし、熱を以て奥行となせる夏宮の賓客となれり綠の波は漂ひ、其の船は浮ぶ階上に、滿汗の盛宴を味へば、成金熱の殘骸を漁ざる蟻心のなきに非ざるも、向上靈化の玉露に、限りなき風情の滴らざらんや。星の銀河、月の氷盤に、理美の色は流れ花の唇、樹海の波に艶麗の綾は織らる。色彩の美は則ち染出す光線の精化にして見ゆる一白に三菱鏡下の七色は宿り、見えざる線端に、熱を醸す赤内光、色を染むる紫外線は潛みて、ラヂウムの光熱エツキス線の幅射と與に次第に其光線秘を發露し來る、其未だ露出し終らざるに人生の希望は繫りて存す。人生の光明は智識なりと云ふと雖も、智識は歸納せられたる過去經驗界の光明に過ぎずして、希望は演繹せらるべき將來無限界の光明也。人生は智識の顯微鏡を有すると與に又希望の望遠鏡を以て、此無限の世界殊に靈海の岸上に、神秘の靈味を味はざる可らざる也。

光の間口を測り了らざる人類は、又熱の奥行を窮むるに至らざるが如し。其長さ、廣さ、深さをすら概計する能はずして、單に力の強大なるに驚かんとする也此力は植物の生命を助長し、動物の活躍を操縦して、殆んど生命の手品師たらんとするものあり。一分間一平方米突に、三馬力の熱を注射すると稱する太陽は、何の器械を以て此製造能率を有するにや羨むべき妙案珍味は呈供せられて、此珍熱被の箸は一草一木にも及ばんとす光波味に飽滿せる一草一木は、地底に埋藏せる幾千年、愈々此力に充實して、寒冬の

が發達して嘘を眞面目に話すのである。前者と似て居るが區別せねばならぬ。如何に責めても直らない。第五はヒステーリ性の少年で是亦空想が發達し我儘で虚榮心が強い、此種の少年は

□詐欺を働く　事あり時に感情が昂へて激しく感動し又往々自殺を企てる事がある。又此ヒステリーと云ふやつは一人起ると附近に居る者に傳染し幾人も幾人も同樣な症狀を現す事がある。第六は癲癇性の少年で之はフイと家を出て定めなく夢中に步き廻る。當人は一向それを知らない。又萬引をしたり火を付けたりする事がある。第七は低能で不良少年中の半數は是だ。

□之は精神　の發育が不良なる結果で注意が散亂し又屡小便をし學課の成績が一般に惡いから少し注意して居れば判る。以上述べた數種類の兒童は何れも精神的に缺陷のある先天的不良少年で此種の者は決して澤山はない答で所謂不良少年の多數は寧ろ後天的他動的に境遇の感化から來るものである。從來不良少年に對して如何なる方法を用ひて居たかといふに、刑法でいふ所の報復主義といつて。

□犯罪の生　じた結果の損害の多寡より、其人を憎み其行に對する復仇的懲罰を行つた。之は勿論其人及び其行に對する復仇の觀念より生じたのであるから又之により一般豫防と特別豫防との目的を達し得る者と思つて居た。即ち此方法に依つて他人及び其人に

□將來再び　罪を犯す事のないやうにする事が出來ると思つたのである。然るに犯罪の原因が其人格が大に關係するので、單に報復主義に基いた刑罰の方法丈では、其目的を達する事は出來ない其所で大に工夫を凝して種々の方法が實行されつゝある。

熱をも補ふべき石炭たらんとす。一草一木の炭化すら尚此の如し、況んや人の胸底に靈化し得ざるの理あらんや。靈化の力は愛也。愛は人生の光と熱也。此愛の權化せしもの、世に現はれしも、世の之を知るもの少く、知つて而して行ふものも亦少し。其知らざるは自らを盲にすれば也。知つて行はざるは自ら馳走の食逃げをなせば也。

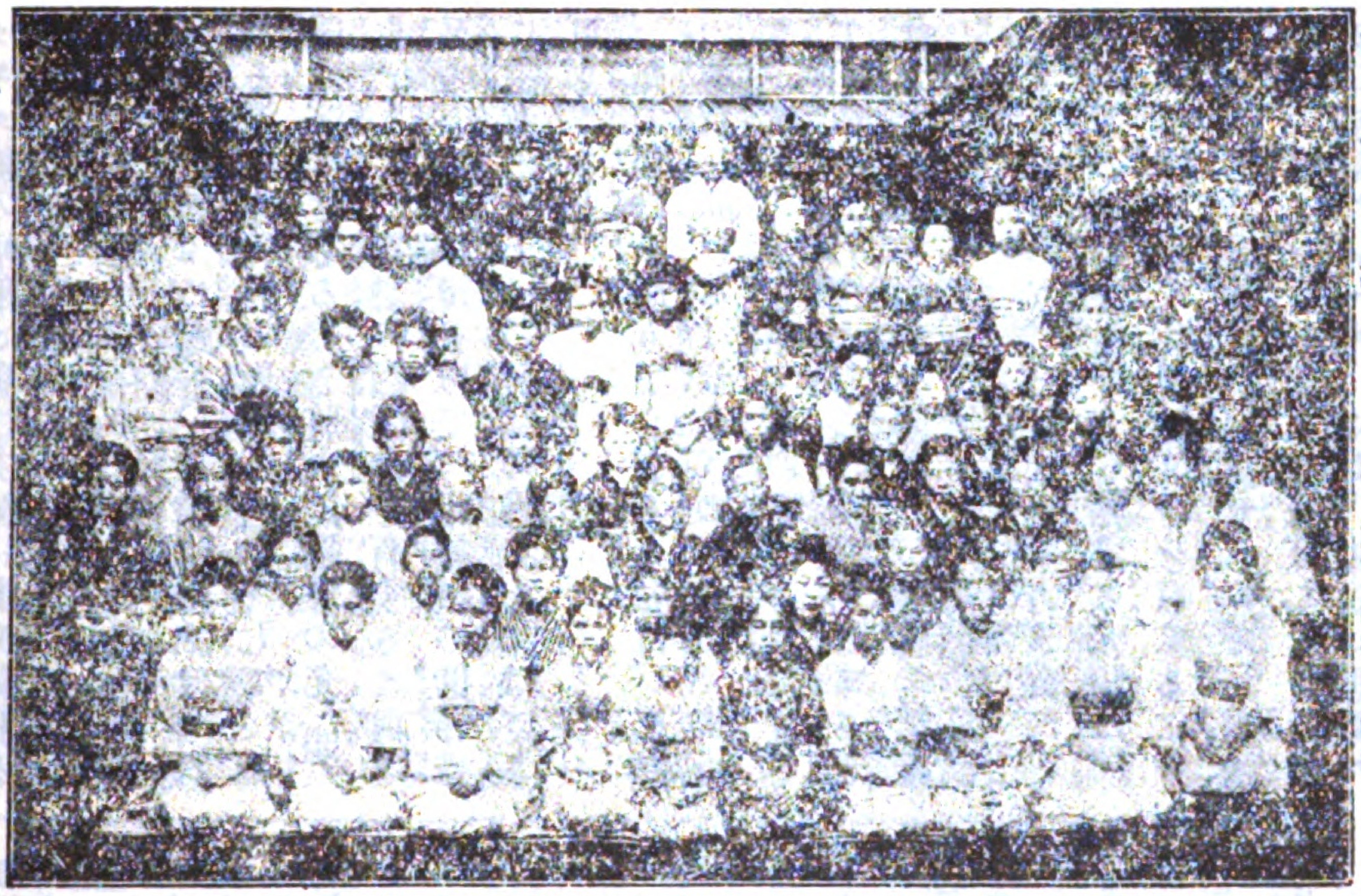
□電燈の心

玲瓏氷の如き、電燈の星にも囁く聲を聞く。發電所に二個の計度器を装置せる配電盤を見よ、其一は電流を計り、他の一は電壓を計るもの、而して電燈の光度は電流に非ずして、電壓の何如に在らんとす。人生の大小能力は其電流にして、赫々の光輝あらしむる電壓は夫自身の熱心也。我を蝕ふの熱心あるに非ざれば光熱を靈化するの力なく、熱時熱殺の餘裕ある可らざる也。

□天麩羅の悩み

紙幣の衣を纏ふて、避暑地に紙幣の風を買ふもの、巷に自働車を驅りて、黄金の涼を白狐の尻尾に追ふもの、爐中を押し行く車力馬力の掖下にも多少の心風あるを知らずして、連りに天麩羅の油揚げに沸々す、涼味は寧ろ砕けたる豆腐の奴に在るを知らずや。

世事辛ひ浮世の波の殺倒に思ひ掛けない不運の破目に陷つた者、不如意の果てが自暴自棄となり太く短く面白く世の中を渡らうとした者、社會道德の缺陷さ



救世軍婦人ホームの廢入親睦會

自己の經驗の淺薄から思はず知らずに墮落の淵に沈み行く者、さうした浮世の暗黒裡に泣く是等の儚い婦人を救濟して夫々精神上に相當の糧を與へ望む處の明るい社會へ出して遣る事は容易な業ではない。救世軍婦人ホームは此意味から特設された一つの機關である▲而して設立後最早十數年、其間なし得たところのものは實に顯著なるは今更謂ふ迄もない事で、それが爲近來は社會一般から同情と感謝の念を以つて迎へられつゝある狀態なのである▲寫眞は去七月十六日、新に改築された同館に第一回廢入親睦會が催した時に集ひ來た百人足らずのホーム出身の婦人である▲彼等は此親しい樂しい眞に愉快な一日を、其昔救の手に依つて初めて安かな夢を圓む事の能る新生涯に入つた追想談に余念もなく、今と昔の其狀態を比べては今更乍ら我身の幸福に留あへぬ感謝の涙に叫び合ひ後髮を引かれる思ひで秩れたのであつた▲今其來會者九十七名を現在の境遇別にすると左の如くである。

一般家庭の女中奉行をなして居る者　四十二人
父母又は親戚等に引受られたる者　八人
結婚して家庭にある者　四十七人
尙之を救濟當時の事情に就て調査して見ると
賣娼婦たりし者　三十五人
境遇悲慘なりし者　五十人
檢事局の手を煩したる者　十二人

さいふ割合である。併し之はホンの一部分であつて、ホーム設立以來旣に救濟した總人數千六百人の上から見れば約十分の一に過ぎぬから全體を推知する事も能ぬが、兎も角好成績を擧げて居る事は推測し難くはない▲此事に就ては近く伊藤大尉が委しい統計を發表する筈であるから、其時こそ救濟事業に關して敎へられる處が必ず多大である事を囑目して居る。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

堅氣の嫁入り

救世軍大尉
婦人救濟係　伊藤富士雄

□振り玉の下げ廻り□
□落行先は元の泥水□

「ソリヤお前!!手紙さへ出せば救世軍では直ぐ來て吳れるだらうサ。けれども借金と身體は全然別物だから、若しお前が飽く迄も喧嘩腰で出て行かうとするならば、私の方にも夫れ相當の覺悟がある。早速お前の田舍へ行つて財產を全部差押へて了ひ、二進も三進も動けぬ程ウント苦しめるが如何だ。——だから今迄斯うして三度の飯を一緒に食べた者が今更救世軍に賴んで、出るの引くのと喧嘩づくで分れるのも餘り外聞の良い話でもないから、溫順しく私の云ふ事を聞くが良い。決して惡い樣には取計らはない心算だ。稼業が續かぬなら續かぬで良いサ。續かぬからと云つて別に何う斯うしやうといふ譯はないのだから、一時休業でもして身體の癒る迄物見遊山に呑氣で暮したら其內元氣も付くだらう。然うした上で相談にも乘らうぢやないか。」

之が樓主の虎の卷である。救つて吳れといふ手紙が來て救濟係が本人に面會を求めると、先づ右の口調で娼妓を籠絡する。大抵の者は其口車に乘つて折角思ひ立つた自廢も可惜水泡に歸して了ふのである。其處で休業となつた者は一先づ周旋屋の手に預けられるが自廢でも遣らうといふ者は一筋繩では手に負へぬ方だから、並大抵の方法では悟られて了ふ恐れがあるので、最後の手段として之を堅氣の嫁入りと云つて振り玉にして下げ廻るのである。

× × ×

「今樓主さんが來てお前さんの事を大變心配して行つたヨ。全くあんな情深い樓主さんも餘り世間にはあるまい。といふのはお前さんに良緣があつたら是非嫁に世話して吳れとの話。私も心配する氣だがお前さんは何う思ふネ」

「さう出來れば結構ですが、却々良緣を探し當てる事も面倒でせうし、夫に借金もあるのですから、妾は少しもそんな望みはないのですし…」

「それはお前さんの僻みといふ者だ。これ程廣い世間だもの、況して交際の廣い私が探せば幾何でもある。第一借金があるからとおいひだが良緣に打會りさへすれば、二百や三百の金は相手が出して下れるじやないか」

「さう？探せばあるでせうかネ」

「あるとも〳〵幾何でもある。……アヽさう〳〵此間ね、得意先の旦那から此麼事を聞いたヨ。何でも旦那の知合で[illegible]時朝鮮の京城に外國貿易商を遣つて居るが、之が又大變に儲けて現在では何萬の財產を作つて何不自由なく暮して居たが、お氣の毒の事には昨年其奧樣が四ッの女の子を殘して亡くなつたさうだ。早速子供は乳母を賴むで世話して貰つて居るが何うも男鰥は不自由で仕方がないから、是非柔和な女があつたら世話して吳れといふ手紙が來たさうだヨ、何うだいお前さんは行く氣がないかね。私は決して無理に進めはしないヨ。相手が相手だから行きたい人が多數あつて得意先の旦那も何うして良いやら困つて居らしやるトサ。マア無駄だらうが、お前さん承知なら一つ話して見やうかねえ」

之には大抵の者は參つて了ふ。其處で手紙や寫眞を出して大袈裟さうな交渉が始まり、其內仕度金が來たからと云つて三越や白木屋を引廻し、流行柄の二三を新調して待受けると、紳士に扮した敏腕家の周旋屋が乘り込んで來る。丁重至らざるなく待遇して早速形許りの結婚式を擧げて二等室に打乘つて出發するのである。神ならぬ身の知る由もなき本人は其麼事とは夢露知らず、表面の親切にスッカリ丸められ扨ては愈々運が向いて來たと許りウッラ〳〵と夢心地に包み切ない新婚旅行を氣取り程なく朝鮮に着くのである。

「實はネお前の方で早く來て吳れといふヤイノ〳〵の催促に取るものも取り敢へず立つたので、家の中も整頓して居ないから、早速大工左官を賴んで大急ぎにお前の部屋を造るから一寸の間此宿屋に居てお吳れ」

と喋し合はせた指定の宿に數日間滯在するのである。其間兩人は手を攜へて酒池肉林の裡に自働車などで橫行し、極端な贅の限りを盡した揚句、商用で二三日間旅行すると云つて出て行くが、此二三日が二十日は愚か一ヶ月經つても歸つて來ない。躍起となつて氣を揉むで居ると、宿屋の方からは兎も角勘定を拂つて吳れといふ而して書出しを見ると驚くまい事かあれも立替、之も立替で百餘圓といふ大金、擂つた揉んだで雜然くが結局處は夫婦の間柄だからと、ふので警察へ突出す段になると、本人は西も東も知らぬ異鄉の空に只[illegible]へ上がつて最う泣いて居る。『ねえ奧樣旅の恥は搔捨てといふから借金の仕末を着ける間客商賣でもしたらどうですね。奧樣位の御器量があれば此土地では千円位は右から左です』といふ根が素人でないから遂に再び泥水に引入られるのである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

平凡道徳

逓信省電氣局長　棟居喜九馬

平凡とは世間に在り觸れた事柄で、文字の示す通り平々凡々の事である。

▲乍然此の平凡の中に多くの眞理が含まれて居るのである。平凡の反對を非凡と云ふ。元來非凡とは衆に秀でゝ居ると云ふことで、吾々と調和の出來ない動々もすれば調子はづれのするものである。此の仲間に不調和な人の多いことは勿論であるが而も非常識な極端な人の多いことは今更云ふまでもない。斯う云ふ人を世間では英雄と云ひ、豪傑と云ふのである。此の英雄豪傑のみで社會は成り立つて行かない。諺に「船頭多くして舟山に登る」と云ふことがあるが、此の世の中は多くの英雄豪傑のみの支配する處に任せたならば吾々人間の社會は必ず舟は山に登るの運命に遭遇するのである。故に少數の英雄は吾々多數民衆の僕となつて社會を指導し、且支配するならばそこに理想社會の建設と、其の向上發展を觀ることが出來る。

▲處世の祕訣は平々凡々に限る

即ち普通一般の道を歩むことである。道とは路に同じことである。分析して說明すれば、道と云ふ文字は首に辶をかけている。首とは眉毛に目と云ふので人間を意味し、辶とは走であつて行きを歩むことで、道とは恰も競馬は「ラチ」の樣な內を歩む如く、吾々人間の踏むべき定められた道筋、即ち人道を歩行することである。平凡道徳とは此の道を突飛なことを行らかさず

闇に蠢く腐肉の群

□桃太郎留守中の昨今□

角雅堂

私娼が跋扈して社會に害毒を流すと云つて警察廳が昨年五月八日、私娼並に酩酒店取締の嚴令を發し、魔窟退治を行ひ、一方遊廓地取締りの規則を改定し從來非常に面倒であつた貸座敷の開業を容易ならしめ、私娼公娼の融和を圖つて以來茲に一年有余其結果本場の淺草、郡代、龜井戸等の私娼は殆ど掃蕩されてどうやら最初の目的を貫徹されたと見へ警察側は凱歌を奏した。

■今昨年五月八日以降本年五月末に至る迄の調査に依ると■

△營業者▽

	發令以前	現在	處罰	營業停止	營業禁止	變數
□日本橋郡代	五一	〇	四〇	一	一	五一
□芝神明町	九六	〇	二九	〇	三	五七
□淺草千束町	八〇五	四九六	三六五	八四	九八	二三三
合計	九五二	四九六	四三四	八五	一〇二	三四一

△雇婦女▽

	發令以前	現在	處罰	親族引渡	解雇	營業不認
□日本橋郡代	一八	〇	二	四	一二四	〇
□芝神明町	一五六	〇	一六	一	一三五	〇
□淺草千束町	二二三一	七七	四〇	二六	一三四四	一四
合計	二四〇五	七七	五八	三一	一六〇三	一四

と云ふ有樣である。

■此の新廳令のお蔭で公娼側は=余程景氣がよくなつて來た■

之を吉原遊廓に就て見るに、昨年五月現在は▲貸座敷百七十一▲娼妓二千三百二十七▲引手茶屋四十五▲藝妓屋七十▲藝妓百六十九、あつたが本年五月初旬の統計に依ると▲貸座敷二百九十二▲娼妓二千五百十八▲引手茶屋四十六▲藝妓屋八十七▲藝妓百八十四名を算して居る。更に遊客に就て云ふと中流以下の階級が好景氣になつた結果、昨年十二月頃から每夜平均六千名、遊興費一萬圓を計上してゐる。之は所轄日本堤署へ正式に屆でた統計であるから實際は其約三倍、即ちざつと一萬五千名に對し三萬圓と見るのが至當である

■併し茲に見逃すべからざる=事實があるそれは新廳令■

この方小見世には抱へ娼妓を二名か三名位しか置かず女中を娼妓代りに客へ出す事である。之は樓主の方から云ふと、營業税其の他種々の利益があり、客を好むは人情の常で客の方でも亦これを悅ぶのである。爲に今日ではこの私娼が公娼と同じ數、若くはそれ以上大抵の妓樓に居るのである。故に數字の上で妓樓の數が昨年より百二十一戸、娼妓は百九十一名の增加を示

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

平穩に眞面目に悠々として歩むことである。故に平凡道德とは調和を意味し、中庸を意味し、常識を含む。

かくの如く中庸を意味し、調和を意味し、常識を含むが故に人間として學むべき道であり、又眞理である眞理は奥に潜むものであつて表に現はるべきものでない。世人は唯此の眞理を研むのみでは何の價値もない此の無限幽遠な眞理を研めて實際生活に應用してこそ初めて効用あり價値のあるものである。例へば電氣の如きものでも只一の眞理として吾人の机の上で研究し且之を弄ぶ位のものであれば三文の價値もないのである。然し之を實際生活に應用して吾人の生存に資する處があつて、初めてそこに眞理の妙味が現はれるのである。故に衣食は眞理の發現である。

▲道德眞理は縦に眺めるものでない

横に實行して社會生活の實狀に入れて、吾々人間の生存に資し人類の福祉を圖ることは之れ平凡道德の骨子である。カーライルは「尊ぶべきは實行であつて議論は三文の價値なし」と云つたが、之は余り極端に走つて居る嫌があつて吾人の首肯し難い處もあるが、亦其の一面を味ふことが出來ると思ふ。

昔支那の白樂天は道林禪師に敎を乞はんとして訪づれた時に、禪師は木の上に座禪を組むで居て少しも應對して吳れない。白樂天は癪に觸つたけれども腹の虫を撫で下して、愈々辭を低うして敎を乞ふた處が禪師は「諸惡爲す勿れ、善事を爲せ」と云つた。すると白樂天はそんな平凡な事は殆んど問題にならぬ程判つて居るからモ少し高尚な六ツ敷いことを敎へて下さいと頼むだ處が、亦禪師は「三才の童子も知る、然るに八十才の老人も之を爲すことを知らず」と云はれて白樂天も感心して歸つたと云ふことである。(文責在記者)

し之を一妓樓に對して平均の率を見れば僅か一人五分強の娼妓の增加にしか當らない。幾等小見世でも一人や二人の娼妓ではとても商賣が出來まい。少くても四人の出稼娼妓を要するとするも四百八十四名の增加を見なければならぬ筈だ。抑々問題の眞相は此の數字の上から見ても明である。公娼の奬勵や遊廓の辯護の勞を執つて忠誠を盡した當局は此の驚くべき奇現象を默認するのか?取締るのか?此の風は吉原より延いて各遊廓に及んで漸次擴つて來る趣があると云ふ。さうなると當局の私娼撲滅は實質に於て私娼增加と云ふ事になりはしないか。當局の誤れる風紀政策が齎める弊は幾何ならずしてかくの如く現實に顯れて來た。

■猶ほ此方面ばかりではない＝
＝腐肉の群は此處彼處に跋扈し■

濁流は社會の各方面へ流れ込むで時節柄ボーフラが湧きさうだ。昨年の新聯令に依つて追はれた私娼連は事實親元へ引渡されたものもあり、工場等に入つて自活の道を得たものもあるけれども其等はホンの僅であつて、殘れる大部分は喰べずには居られずさりとて吉原や洲崎で花魁になる氣にもなれず、良家の雇女になるには自墮落な習慣か窮窟を嫌つて、據所なくいろ〱と無い智慧を絞つて見た揚句思ひついたのは今頃流行のラヂユム湯である。之等は効驗があるか否は別問題であるが近頃では大崎とか、森ヶ崎とか宮の前には數多の溫泉旅館は建てられて、かうした女は浴客の心を唆るに努めて居る。浴客は貴賤老幼男女の混りであるが七歩通りは或る目的を持つ——肉を漁る——男達であるから座敷に侍べる女も白粉臭いもので一寸澁皮の剝けたものを選び旅館兼料理屋と云ふ看板の下に怪しい女が出入して一夜の妻を勤めて此處許りは警察の治外法權ですから大丈夫と眼を忍んで生血を吸つて居る。ラヂユム湯も時勢の變遷に應じて其の効果に異動を及ぼすに至つたのは時代人心の反映亦止むを得ざる事と謂へばそれまでだがそれでは法律の權威も社會の權威もない、新興日東帝國の見識に障ることと甚しい。殊に王子には職工を相手とする私娼が著しく殖えた。可哀相なのは職工だ、セッセ〱と工場で眞黑くなつて働いて歸れば、之等のバチルスに大事な肉を嚙られ生血を吸はれて居ると云ふ評判が高い尚は今までの千束町邊の魔窟が寂れて來た反響として各地の水泳場の附近及び避暑地に此の種の女が地盤を占めて次第に風儀を亂さうとする傾向がある。

■之でも私娼撲滅策は成功か＝
＝社會風敎上私娼を掃蕩された■

とは尚詭辯の余地はなからう。曾て伊藤主事は當時當局の風紀政策を批評して「右手に利劍を提げて賣淫を脅かし、左手に春畫を示して淫蕩を奬勵する者也」云々と曰はれたが。今に其の言の適切なるを感ずると同時に當局の愚迂を憫まざるを得ない。

其の他私娼の變身とも云ふべきものは大正藝妓の復活である。今迄鳴を沈めて居た幾千の鼠位き女が此の風評を耳にしたれば、渡りに船と喜び一齊に活動し初めた。當局は案外無頓着なので占めたと許り額を叩いて喜んでゐるのは、私娼の巣窟として日々嚴重なる取締のため壓迫に壓迫を加へられながら、尚頑强にも居据りたき　込むでゐる淺草魔窟の幽靈主人である。一方彼等は家主の甘言に乘つて銘酒店復活の夢を見て其の權利株を固持して居る。其の愚や嗤ふべし。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

最近の廓清運動

白萩生

□飛田遊廓取消請願

飛田遊廓反對同盟會は、三千餘名の連署を以て貴族院(江原素六氏紹介)及び衆議院(島田三郎氏紹介)、之が取消の請願書を提出し、衆人の反對運動に據つて、流石に天下の問題となりたるだけ請願委員の採擇する處となり、衆議院に於ては三十五名の賛成者を經て左の如き質問書を提出したり。

大阪府飛田遊廓指定ニ關スル質問主意書右成規ニ據リ提出候也

大正六年七月五日

提出者　高松正道　賛成者　鈴木梅四郎外三十三人

大阪府飛田遊廓指定ニ關スル質問主意書

一、內務大臣ハ大正五年四月大阪市ニ現存スル遊廓整理並大阪市南區難波新地大火失業者救濟ノ目的ヲ以テ大阪府東成郡天王寺村字飛田ヲ新遊廓地トシテ指定セリ現內務大臣ハ今尙其ノ必要ヲ認メツヽアリヤ如何

二、飛田遊廓指定ニ際シ大正五年大阪府告示第百七號發布一部政府黨ヲシテ不當利得ヲ獲取セシメタルカ爲メ機密漏洩シ官紀ヲ紊亂セル事實アリ當局者ハ果シテ其ノ責任ヲ明ニシ官紀ヲ振肅セシコトアリヤ如何

三、飛田遊廓指定後既ニ一ヶ年以上ヲ經過セシニ尙遊廓整理ノ實現ヲ見ルニ至ラサル理由如何

四、遊廓指定地ハ大阪市唯一ノ公園タル天王寺公園ニ接續シ又ハ其ノ附近ニ大阪市立大阪高等商業學校、大阪府師範學校、大阪府女子師範學校、大阪府今宮中學校其他公私立各種學校ノ散在スルアリ當局者ハ果シテ遊廓ヲ飛田ニ指定スルモ尙風紀及敎育上ニ何等ノ惡影響ヲ與ヘサルヘシト強辯スル勇氣アリヤ如何

五、飛田遊廓指定條件トシテハ建築上ニ種々ノ條件ヲ附シ遊廓タラサル體裁ヲ裝ハシメ以テ外見ヲ糊塗シテマテ此ノ地ヲ指定セル理由如何

六、遊廓指定ノ理由トシテ難波新地大火罹災失業者救濟ヲ目的トスル旨ヲ宣言セシモ事實ニ於テハ眞正ナル失業者ヲ救濟スルニ非スシテ其ノ緣故權ヲ買收セル別個醜業者營業ヲ許可シタル理由如何

七、遊廓ノ整理トハ大阪市內ニ散在スル三遊廓ヲ移轉整理スルノ意味ナルヤ果シテ然ラハ其ノ整理ノ方針並ニ整理開始ノ時期及終了ノ時期如何

九、內務大臣ハ飛田遊廓設置ニ對スル大阪府民ノ輿論ニ鑑ミ指定地ニ於ケル建築工事ノ未着手ヲ好機トシ大正五年四月十五日大阪府告示第百七號ヲ速ニ取消スノ意志アリヤ如何

右質問候也

大正六年七月十三日

內閣總理大臣　寺內　正毅

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員高松正道君提出大阪府飛田遊廓指定ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書兼テ進候(別紙)

衆議院高松正道君提出大阪府飛田遊廓指定ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一、大阪府東成郡天王寺村貸座敷免許地ノ指定ハ既定ノ事實ナルヲ以テ更ニ之ヲ廢止スルハ考慮ヲ要スヘキモノト認ム

二、貸座敷免許地ノ指定ニ際シ機密漏洩ノ事實アリシヤ否ヤハ明瞭ナラス

三、遊廓ノ整理ハ其ノ關係スル所重大ニシテ實行上愼重考慮ヲ要スルニ依ル

四、貸座敷免許地風敎又敎育上ニ影響ヲ及ホスヤ否ヤニ付テハ最モ愼重ナル調査ヲ要スル所ナリ本件指定地ハ公園及學校ニ對シテハ相當距離ヲ有スルヲ以テ著シク障害ナキモノト認ム

五、建築上條件ヲ附スルハ營業家屋ニ關スル風俗取締上ノ必要ニ基キタルモノニシテ貸座敷免許地指定ノ條件ニアラス

六、未タ貸座敷營業ノ許可ヲ與ヘタルコトナシ

七、大阪市發展ノ狀況ニ鑑ミ市內ニ散在スル三遊廓ヲ整理スルハ必要ヲ認メサルニアラスト雖モ整理開始ノ事實及終了ノ時期等ニ付テハ未タ明言スルノ時機ニ達セス

八、第一項答辯ノ通

右及答辯候也

大正六年七月九日

衆議院議員高松正道君提出大阪府飛田遊廓指定ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候(別紙)

衆議院議員高松正道君提出大阪府飛田遊廓指定ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

一、本件ハ既往ノ事實ニ屬スルヲ以テ今日ニ於テ秘密漏洩ノ眞相ヲ調査スルハ困難ナリトス

二、指定後一ケ年ノ短時日ニ於テ整理ノ實現ヲ見サルハ當業者其他ニ及ホスノ關係重大ナルニ依ル又大阪府東成郡天王寺村貸座敷免許地ヲ指定シタルハ難波新地大火罹災元貸座敷營業者ニ對シ之カ代地ヲ認ムルコト理由ノ一ニシテ大阪市內三遊廓ノ整理問題ノミニ依リ取消シ如何ヲ決定スルコト能ハス

三、質問主意書ニ列記セル內訓及訓令ノ精神ニ服ラシ風敎又ハ敎育上ニ著シキ障害ナシ

四、貸座敷業者ノ許可ハ難波新地大火ノ際罹災シタル元貸座敷營業者及大阪市內貸座敷整理ノ目的ニ副フモノニ限定スルノ方針ナリ

五、同貸座敷免許地ノ指定理由ハ大阪市內三遊廓ノ整理ノ必要ノミニ依ルモノニアラサルヲ以テ理由ナキ行政處分ニアラス

六、前回答辯ノ如ク同貸座敷免許地ノ指定ハ既定ノ事實ナルヲ以テ之ヲ廢止スルハ更ラニ考慮ヲ要スヘキモノトス

右及答辯候也

大正六年七月十二日

內務大臣男爵　後藤　新平

□濱松に於ける廓清大演說會

六月一日濱松基督敎青年會主催の下に、コーツ博士等斡旋の下に廓清大演說會を開く、本部より、安部磯雄、內ヶ崎作三郎の二氏出演せられ、同地稀有の盛會を見て官民に警告する處甚大なるものありき。

□弘前の風紀廓清運動

此程弘前の市會議員の改選の結果、貸座敷業者にして之に當選したるものありしより、本會員岡田勇三氏は蹶然として起ち同地風致の爲に、某氏の辭職を求むるの運動を興し、或は新聞紙上に數日に亘つて正義の叫を爲し、同志を糾合し、此の機を以て一大廓清運動を試みんとして、演說會其他の會合を爲せり。

□野付牛の公娼設置反對運動

北海道の野付牛にては先年來遊廓設置の運動ありしが、今回愈々設置の形勢を見んとするに至りたる爲、同地婦人矯風會は、之が反對運動を開始し、當局に陳情書を提出したる旨の報告ありたり。

□豐川の公娼設置反對運動

豐川稻荷を以て聞へたる、愛知縣豐川にては新に遊廓の設置を企劃し、既に縣當局へ申請したるより本會員木藤冷劍氏等の有志は直に反對運動を開始し、矢島婦人矯風會頭は、松井愛知縣知事に對して、之が許可せられざる樣陳情書を送られたり。

公娼の如き變制が大正の今日尙ほ斯の如く擴張せられんとしつゝあるは痛嘆すべきことにして、本會員たる者一層の奮動を望む。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

天鼓之響

犯罪少年と自轉車と女郎

救世軍希望館　北島孝人

少年と自轉車と女郎と抑も如何なる因縁が繋がつてるか知らぬが其間になか〳〵面白い事實が有つて極めて興味ある問題であると思ふ。

救世軍希望館に於て、最近滿一ヶ年間大阪區裁判所檢事局より微罪不起訴者として引渡されたる不良少年總員三百二十人に就て調べて見るに、其中自轉車に關する犯罪者四十二人で全體の一割三分を示して居る。而して被害自轉車の總數は六十臺の多きに上つて居る之れは畢竟一人で五臺も六臺もの自轉車を窃取したり、橫領した者が有るからである。而して自轉車に關する犯罪少年は殆んど皆自轉車に乘り得る者のみと言つてよい乘れないものは當館に引取つた者の中では一人もなかつた。一體彼等は打見た所如何にも賢こ相で悧巧に見える。顧客も他の少年よりは何處となく可愛らしく生意氣の樣であるが、確かに敏捷である。鈍感な質の者はない。加も比較的小柄の體格の者が多くて其割合に皆大膽である。年齡も十五歲以上二十二三歲に下る者が多數を占めて居る。

今右に述べた四十二名の少年に就て、種々取調べて見ると第一彼等の犯罪當時の身分は

學生	一	配達	六
徒弟	三	書生	二
丁稚	一四	店員	七
職工	六	海員	一
給仕	一	遊藝稼人	一

第二、自轉車を手に入れし方法は如何にと言ふに

家用又は主人の使に行く途中より乘逃げ	一一
主家より持ち出す	八
他所より窃取して乘逃ぐ	一〇
他人の物を借りて橫領す	六
商店又は他家より詐欺して持逃ぐ	七

第三、手に入れたる自轉車を如何に處分したるかを見るに

賣入せしも	六
賣入せんとせしもの	三
古物商に質渡す	二
質渡さんとして果さず	九
借金の抵當に	一
他人に預けしもの	二
自分に携帶せしもの	七
置去りにせしもの	二

自轉車の被害は他の物品の被害と異なり、皆元の儘にて持主に返ることが多い。之れは第一其物を毀すことが出來ぬ上に取扱に不便であるからである。第二は犯罪者の多くが少年であるから相當の賣れ口がなければ遂には各自持ち餘す風である。第四、に犯罪の動機である。何が故に自轉車を窃取したり、橫領したかと言ふと、種々にこれを分つことが出來る。

遊蕩費に窮して（女郎買）	二二
酒代に資せんとして	二
買喰せんため	三
活動寫眞を見たさに	七
旅費を調へんため	二
病氣のため	一
雇の酷使を恨みて	一
借金の抵當に充てんため	二
不明	二

右の數字を吟味して見ると女郎買の爲にと言ふのが四十二名に對する二十二名で丁度五割二分に當つて居る

以上述た所は事實が之れを證明するから仕方がない全く少年で自轉車に乘り得る者は或る意味に於て犯罪を容易ならしむる素質を有して居ると言つて宜い。俗に言ふ生意氣に流れ易くツルイ方の質が多い。而して早熟で遊廓なんかへ早く足を入れることを見習ふ其悧巧相な所謂自轉車乘意氣が彼等女郎に可愛がられる基となるのである。大阪松島遊廓の或女郎は當館に收容した一少年（之れは吳服商の丁稚で當年十八）に這んな艷書を送つて來た。

「妾しが可愛いと思召すなら金がない〳〵と言はずにあなたの自轉車を質に置きそれで妾を見受けして自轉車の代りに可愛がつて下さい」

甚だ卑猥な文句であるが其少年は事實其儘を試みてやつたのである。女郎の意に從つて主人の自轉車を質屋に持ち行き質入せんとして果さず遂に警察の手に捕はれたのである。實際油斷の出來ぬ話であるが仕方がない。之れは女郎の罪か社會の罪か又た其少年の罪か遊廓の公設が如何に少年の間に害毒を及ぼして居るかが判る。之等の點は賢明なる諸先生の御研究に讓るとして玆に其材料の一端を示した次第である。

市場鴨村氏に誨ふ

□□□娼妓自由廢業に就て□□□

光 鹽 生

警視廳當局者が向鉢卷になつて、私娼撲滅公娼改良とやらの名案も、何の効果を收むることなく只一時の世間騷がせであつた。半死半生の貸座敷業者に注射を施して景氣をつけてやつた外、その根本目的たる私娼撲滅は何處へやら龍頭蛇尾に終つたではあるまいか。

さるにても廓清會や救世軍にては相變らず男女貞潔、公娼廢止の主張に益々旗色を鮮にし、又一方には娼妓自由廢業の實際運動にも充分奮鬪して居るそうだが、實にその根氣強い努力に對しては感謝の外はない娼妓自由廢業に就て思立つたが、それは此頃或雜誌に市場學而郎君の事實談なりとして、左の如き面白い記事が轉載されてあつたのを見出したから、一寸紹介して見よう、曰く『「先年自由廢業の流行した當時、一旦廢業した娼妓で途方に暮れ、養育院へ入つて來たものだけでも五十名以上もあつたとのことである。その外自由廢業後ミジメな目に遇つた者がどれだけあつたか知れない。之に反して溫柔しく娼妓を無事に勤めて居れば、やがて自然に運が向いて來て然るべき客に受け出され、幸福な身の上になつた者が少くない。遊廓の事情に精通せる者の談に、世の中は妙なもので、此の果にだつて終身娼妓をして居る者ばかりはない。五年なり六年なりの中には皆それ〳〵落ち着く場所へ落ち着いて行くものだとのことである。云々……私は斯う云ふ事實を見るにつけても水を治むるには水の性に從はねばならぬ如く該問題に就ても矢張り自然に逆らはぬ樣にしなくてはならぬと思ふ云々」

如何にも左樣である。或は斯くの如き事實もあるであらう。私は敢て之れを否定しない。乍併私は此記事を讀んで行くと、何んだか遊廓の自廢騷ぎに樓主や妓夫どもが無智な娼妓の心を譏へさうとして、何や彼やと口説きたてる文句其儘で寧ろ滑稽の感がある。

一、娼妓自由廢業の是非問題に就ては島田會長を始め先輩によりて幾度か繰返され、又本誌が久しき間の主張によつて充分徹底されて居るが故に、玆にクドクドしく說くことを省くが、云ふまでもなく娼妓稼業なるものは立派な自主自營の職業ではない。益富本會理事は娼妓は寧ろ一種の罹災者である、恰も水害火難に會つた者のそれの如く一種の災厄に遭遇した者である、惜むべきに非らずして救ふべき者なり」と云つたが、頗る適切なる言葉だと思ふ。それ故一旦廢業した娼妓が途方に暮れて養育院のお世話になつたからとて何の不思議があらふ、寧ろ當然ではないか。飛ぶ鳥を落すような榮華を極めた百萬長者が零落して昨日に變る今日の哀れさ養育院に送られたと云ふのと廢業娼妓の如き場合とは全く違ふのである。身は人間でありながら動物よりも劣つた待遇を受けて居た彼等、その慘酷な樓主の手を放れて、差當り行く所がないから養育院のお世話を受けると云ふのは彼等のためにも又社會のためにも大に喜ぶべき幸福に非らずして何ぞ。

惟ふに市場君と稱する人は、唯養育院に送られたと云ふ事實を見て直に人生最極の悲慘事として居るらしい。私は怪しむ社會は何故モツト養育院であれ、婦人會であれ、各種の慈善機關を解放して憐むべき彼等を救ふために盡力しないのか。殊更にあまり財源の裕でもない救世軍の婦人ホームや矯風會の慈愛館なんかにばかり御苦勞をかけて居るべき性質のものではあるまいと思ふ。

二、「溫柔しく娼妓を勤めて居る者の中には自然に運が向いて來て、然るべき客に受け出され幸福な身の上になつた者が少くない」これは頭から問題にならない。田舍がコンナ寂しい山の中にクヨ〳〵して居るよりか東京にでも出たら何かウマイ儲け口があらふ。何でも成功は東京に限るとはよく云ふことである。されど東京で失敗した人が何萬あるか殆んど數へ切れぬではないか。雲を掴むが如き空賴みとはこの事である。又彼等が豫定通り然るべき客に受け出されたとしても、どうせ女郎買をする樣な放蕩者ではないか、船板塀に見越の松と云ふ呑氣な生活はホンの夢の間、やがて本家の破產か、當人の禁治產騷ぎで何時かは秋の扇と捨られ、元の古巢へと逆戾り、以前にも增した悲慘な目に遇つた事實は世間に澤山ある。亦斯る事ないとしても蓄妾生活なる者は果して奬勵すべき善良なる婦人の道に適ふた者なりや如何敢て同君の反省を促して止まぬ次第である。要するに娼妓自由廢業を不可とするならば、モツト理由のある斯樣な子供だましではなく實際に觸れた深い研究をした上でなくては、私共にはチト受取り兼ねるのである。それで私は何も市場君に入ツ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

當りする譯ではないが、廣い世間には同君と同樣な意見を以て隨分誤つた考を抱いて居る人がないでもないから右の記事をお引合にまで出して敢て社會に警告して置く次第である。

江南生曰、久々で光驪生兄の雄健なるお筆に接し欣懐の情に堪へませぬ、一層御同情を祈る。

廢娼論は如何になりしか

横濱　梅翁

廓淸會が憤慨して、唱道せる廢娼論は今や相互日を瞭み論戰酣なるが如く、而して未だ其實行を見ず。獅子の如く吼ひ、虎の如く猛りて、義人の血に渇ける者、之れと暴政と云ふ義人は其の然るを知らず。大に天下に呼號して志士を求め仁人を激す、義人は義にして奸なし、彼等虎狼の徒奸悪にして義なし、密林に隱れ深谷に伏し、暫く義人の堪へ難きを待ち、些の過擧缺點あれば捕へて之れを刑に處し、彼曰く彼れは暴民なり義人にあらず、故に刑に處すと、志士仁人齒を切り目を瞋し、坐を蹴つて立ち彼虎狼の徒赦し難しと、彼は深く權力の下に入り一打以て之れを斃すの策を講じ、志士仁人を起ち能はざらしめんとす、德川幕政安政の獄是也。今廓淸號が公娼制度の人道に背くや黑奴賣買より甚しとし、天下に呼號して志士に計り仁人に求め、或は公に述べ、或は私に諫むるとも、彼等は花柳病防禦に口をかり、或は風紀の取り締りに言を托し、頑として應ずるの色なし、廓淸は此の如き淺薄なる近眼的なる論據に瞞着せらるゝ者にあらず海外諸名士の議論及其實驗と我國諸博士學者の學理及び實質の砲丸は彼が根據と頼める卑淺なる言論は、粉砕して沈默せしめたり。彼等は今密林に隱れ幽谷に伏し、爪を磨き、牙を研ぎ、暫く志士仁人の過擧を待ち、之れが血に飽かんとす、謀士雲の如く論客霞の如くありと雖も之れを如何ともする能はざらしめぬ。我輩の其堪へ難きに乘じ過激の事を擧げ、彼等の毒牙に罹らば、百年の後銅象一軀、位記一階に過ぎず、而して當今に益なきなり、余惟ふ此の時に當り如何なる方法をとる可きか、月一回大なる威示運動よからずや、亦公娼自由廢業のトラクト數萬枚を製し、之れを下層勞働者に分ち猶其緣故ある娼妓等の原籍に分つ之れなり、救世軍一時トラクトの事ありしも餘りに華やかなれば一時を驚かしたるに過ぎず、要領あるトラクトを娼妓等の原籍にまで送り、賣り子車夫勞働外に與へ、人身賣買の悲慘を救ふ可きに同情せしめば且つ多くの味方を造り、下層外をして正義道德の一部を知らしむに至らずや。

豐川の置娼運動

豐橋　木藤冷劍

扨私事暫らく廓淸運動の報告も致さず失禮のみ爲し居り候處今般遊廓の新設を耳にし候故取り敢ず反對運動を致し候。豐川鐵道豐川驛を離る數丁即ち豐川稻荷境内の北方へ數萬坪の敷地にて遊廓施設運動中との事に候。直ちに新聞社を訪れ反對主意を語り、豐川町役場并に市民等へ小册子を頒布致し置き候。

右に就き基督教婦人矯風會矢島女史より別紙の如き檄文を愛知縣知事法學博士松井茂氏へ提出致し被下候由、久布白落實女史の翰便に有之候。尙ほ基督教大阪婦人矯風會頭林歌子女史上京中にて、其歸途演說會を開きてはとの久布白女史の御好意ありしが、當時毎日の如く暴雨降りしきり且つ豐橋市を距る三里にして會場の手順も意の如く爲らざる故、今回林歌子女史の演說會は見合せ、其後九日貸地檢閲に参り早速婦人矯風會へ禮狀を差し出し置きたり。尙ほ此擧に際し、公娼全廢小册子二千枚と及五錢袋と「社會廓淸論」を寄贈せられたる久布白矯風會幹事の御厚思を感謝す。豐川地方民は一般に遊廓の新設を喜ばざるの形跡あり、目下同地は料理屋五十軒淫賣婦百數十名、風紀の紊亂せる事は驚くの外なし、近く新に成らんとする大伽藍、豐川稻荷の繁盛の半面に客足を止むべく、遊廓の運動を密々計畫したるものに有之候。

□矯風會の新事業

東京府にては日本基督教婦人矯風會に對し年一千圓の補助金を與へて不良少女を收容感化せしむる事となり、同會は本月一日より婦人ホームの一部に少女收容所を設立して事業を開始する由、收容所に收容すべき少女は、浮浪性のもの又は田舍から飛出して行場に困るものにて、八歳より十八歳までの者十五名を定員として一週間又は二週間收容し、其間全く善良なる人として取扱ひ、出來るだけ愉快になさしむる方針なりといふ。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

編輯の後

□言ふまいと思へども此暑さかなとやら三伏炎天の候謹んで會員諸君の健康を祈ります。

□來月號は例によつて休刊致します。而して十月號を倍號とします。新裝をこらし面目を新らためて堂々たる姿を以て諸君に見ゆるでしやう、どうか刮目してお待ちを願ひます。

□支那の帝政復辟も兩國の花火の樣に上つたかと思ふと煙の如く消へた。由來支那建國の精神は民主共和の思想に在る。昔革命放伐論と云つて有德の君主は不德の君主に代りて民を治め、民は不德の君を捨てゝ有德の君主に就くを得べし。と唱へられた。「撫レ我則后、虐レ我則讎」と云ふ語は尤も此の思想を明白に表はして居る。恁う云ふ信念と思想とを有つてゐる支那人は夏の桀、殷の紂の如き淫虐にして且つ酒池肉林の樂に耽つて暴戾極まる君主を殺すのは天子に對しての叛逆に非ずして匹夫を殺すのである。と云ふことを孟子等が唱へられた。

□と謂つて米國の如く立派に民主共和國の體面を保つて行けるかと云へば現今の彼等の思想では能く世界の大勢に迎合して自國の社會狀態に鑑み獨立國の體面を完うすることは六ツ敷い。元來彼等は永續的觀念に乏しいのだから強大なる國家も健全なる社會も建設さるゝ筈がない。自治は遂に支那に行はれないと云ふ嘆聲を拭ふには支那政弊の堆積を排除する偉大な人物の傑出は無論必要であるが、思想を異にする南北は分離して各々好む所に從ふに限ると思ふが熟々考ふるに彼等は未だ野蠻矇昧な人種で世界の大勢は恁うであらうと思想の變化は恁うであらうがそんな事に關らず徒らに粗暴殺伐の振舞を事として居るのだから帝政共和の得失を論じて政體論や法理論等では中々彼等は綴りさうでもない。一層アフリカの野蠻人のやうなものなれば却つて事は成り易いが、彼等の樣に少しは東も西も知つてゐる邪推半可通な野蠻人だから何處から手を附ければ丸く納まるかは今ではチツとも判らぬ。

□ストロング、ハンド政治を以て支那の解決策とする考もある。それも至極結構だが實際此の局に當つて甘く行ける者はマア今の支那では一人も居ない。斯うなると支那は早晩滅亡する。革命の起る毎に支那民族の使命を通つて行くのである。

□支那が滅すことになると日本に取つては中々重大なる問題である。日本は東洋の平和を維持し競爭激烈なる、世界の舞臺に立つて、平和と生存を確保せんとするならば亞細亞民族の復興を圖り、四億萬の漢民族と手を携へなければならぬ。卽ち日本は全力を注いで亡び行く支那を扶掖し援助して之を活かさなければならぬ。此の意味に於て對支問題は我帝國の興廢に關する重大なる外交問題であり、亦亞細亞民族の消長に關するものである。

□此際日本の對支外交は世界の大勢に鑑み、支那の將來を慮り、進歩的頭腦を以て愼重事に當らなければならぬ。知らず、寺內內閣は此の重大なる隣邦支那の時局に對し機宜の外交をなし得るや、否や。

□果然獨逸議會は媾和の提議を爲した。聯合國の意嚮は彼れは最後の誠意を披瀝する迄顧みないと云ふ。之れ媾和に赴く曲折であつて、明かに局面は媾和に向つて轉回せられつゝあるのである。何國も此に對しては備へざるものはない。我が當局は果して如何なる準備をして居るか、國外に對する無能は國を亡ぼすものと知れ。

□過般の議會に於て憲政會の齋藤隆夫氏は政友會の有象無象にワイ〳〵連の惡罵を浴せたとやらで、遂にワイ〳〵の徒に懲罰に附せられた。朝に吳客を送り夕に越夫を迎ふる無貞操なる政治家を目してワイ〳〵連の評は至極適切だと思ふ。

□政治の基本的目的は人民の安寧幸福を企圖するにある。聖帝仁德天皇は「其夫之立レ君是爲二百姓一。然則以二百姓一爲レ本。是以古聖者一人飢寒顧レ之責レ之。今百姓貧之則朕之貧也。」と仰せられた。民本主義の政治は抑も我國に於ては皇祖の遺訓であつて、明治廿二年憲法を發布し立憲政體を採用するに至つたのは皇祖皇宗の遺訓を明徵にせられたのである。御上諭に「朕カ親愛スル所ノ臣民ハ卽チ朕カ祖宗ノ惠撫慈養シ給ヒシ所ノ臣民ナルヲ念ヒ其康福ヲ增進シ其懿德良能ヲ發達セシメムコトヲ願ヒ」「茲ニ大憲ヲ制定」するとの宣ませられた。只時勢の異なるが故に斯の如き新らしき形式の政體を取られたので根本の精的に於ては今も昔も寸毫も變らない。

□譎なる詭誠意なきワイ〳〵連は議會で田夫野人の猥雜喧騷を事とし、政府は無能頑冥にして能く憲法發布の御告文の「益々國家ノ丕基ヲ鞏固ニシ、八洲民生ノ慶福ヲ增進ス」とある有難聖慮を奉體し得るに足らない。

□寺內伯の最も崇拜する獨逸も今や民本的風潮に漂はされんとし內閣は改造された。伯は猶以前として民本的傾向を矯正し、國民の世界的進歩の趨勢に同化せんとするを阻止せんとする。官僚的態度は世界の大勢を逆觀し之と順應調節して國民を善導し得るものでない、却つて國を亡すものである。

□寺內伯たる者須く活眼を開いて大勢を達觀し流に從つて洪水を疏するの道を學ぶべしである。（角雅堂）

大正六年八月一日納本（每月一回一日發行）
大正六年八月一日發行　一部金七錢郵稅共

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉

印刷人　小石川大塚窪町一番地　久保民生

印刷所　京橋區弓町十三番地　千代田印刷株式會社

發行所　芝區三田四國町二番地　廓清會本部
電話芝五八五五番
振替東京二七〇七二番

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廣告主へ御用の際は必ず雑誌「廓清」による旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA.

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone : Chigasaki No. 2

診察毎朝及毎夕 但祭日及日曜之他

院長診察月、金、木、午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附內）

電話番町六二番 東洋內科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

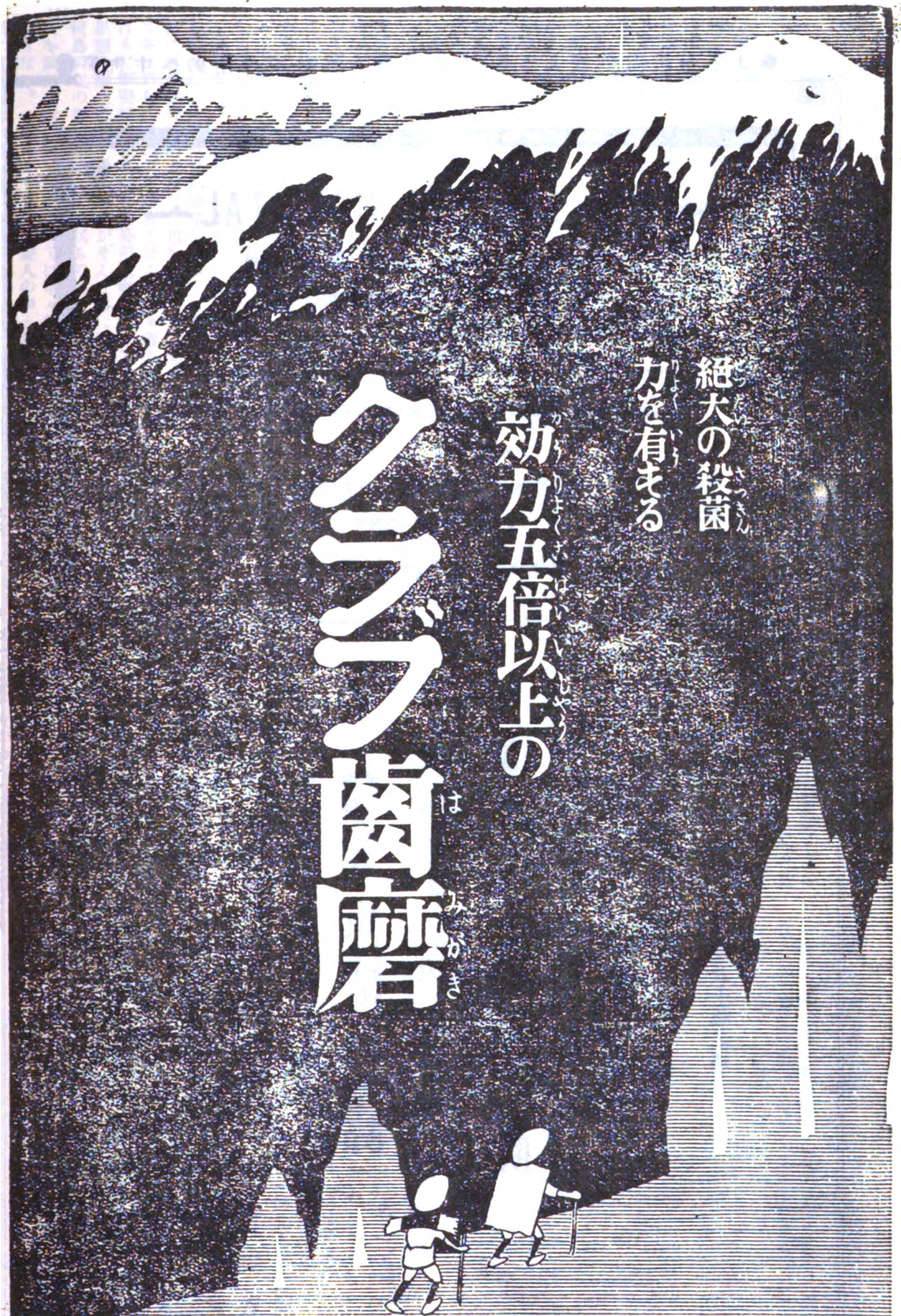
電話ちがさき二番 南湖院

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後 入院診後應需

診察毎朝 但祭日及日曜及土曜之他



一部定價金七錢

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY